(明治三十九年九月一日第三種郵便物認可) (年中無休刊)

# 京城日報

十四日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 [illegible]
廣告料 五號活字十六字詰一行 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

## ◎英國民日本に感謝す 聖上陛下英海軍へ御賜勳

ロイテル電報は報じて曰く、日本艦隊地中海にありとの報は英國民の感謝に値す、嚮ほ日本 天皇陛下が英國海軍中將ビーチー提督以下に勳章を御下賜あらせられたることは一層英國民の感謝を拂ひつゝある所なり(東京特電)

## ◎我海軍歐洲遣艦否認

日本増派艦隊が歐洲海面の聯合艦隊と合同せりとの外電に對し我海軍當局者はジブラルタル以西に日本艦隊の隻影なしとて此の説を否認し居れり(東京特電)

## ◎臨時國庫證券發行

大藏省令第二十四號を以て十四日臨時國庫證券第一回分一億圓の發行發表せられたり其條件左の如し

(一)發行額一億圓(二)發行價格は額面百圓に付九十八圓(二)利率年五分(二)償還期限大正九年九月一日(二)申込期日本年八月十八日より二十二日に至る(二)募入決定日八月二十四日(二)證券額面種類は五十圓、百圓、五百圓、一千圓、五千圓の五種とす

尚大正五年八月二十五日官報所載の發行諸億[illegible]大藏證券は右應募拂込の現金に代用(額面金額)を以てすることを得、此の代用は優先募入とす(東京特電)

## ◎支那の對獨宣戰條件

支那政府は聯合國と協同の步調を執り獨逸に向つて宣戰すると同時に左記條件を履行すべし(北京電報)

一 治外法權領事裁判を取消す事
一 獨逸品に對しては總て二割の關税を賦課す事
一 傭聘獨人を解雇する事
一 獨逸軍人は總て捕虜として監視する事
一 獨逸租界を沒收する事
一 繫留船舶全部を沒收する事
一 通信全部を檢閲する事
一 獨逸人系の手になる新聞紙の發行及び輸入を禁止する事

## ◎獨機二十、英國を襲ふ

獨逸飛行機二十臺はサウスエンド、セクフオード及びマーゲートに爆彈を投じ二十三名の即死者ありサウスエンドにては右の外五十名の負傷者を出せり(倫敦電報)

## ◎平和條件明示要求案

米國上院議員フオレット氏は聯合國に對し平和條件明示方を要求すべき決議案を議會に提出せり(紐育電報)

## ◎秘露も對獨宣戰か

秘露汽船が公海に於て擊沈せられたる事件に關し同國の輿論は開戰に傾き來れり政府は近く斷交すべく議會の承認を得ば宣戰を布告すべしと觀測さる(紐育電報)

## ◎獨帝墺外相と會見

十一日獨逸皇帝は宰相ミハエリス博士外相キユールマンを隨へ墺國外相と長時間の會談を遂げたるが右は近東問題及講和問題に就いて兩國の意志疏通を圖るものならん(紐育電報)

## ◎吉長借款進捗

行惱み中なりし吉林長春間鐵道借款問題は日支親善を圖る一要件として交渉進捗し近日中に調印行はるべし(東京電報)

## ◎新任樞府顧問

左の通り親任ありたり(東京特電)

樞密顧問官 貴族院議員從二位勳一等法學博士 一木喜德郎

## ◎新男爵二人

左の通り特に男爵を授與せられたり(東京特電)

貴族院議員從二位勳一等 松岡康毅
東京市長正三位勳一等法學博士 奥田義人

特ニ華族ニ列シ男爵ヲ授ク(各通)

附記「松岡康毅氏は[illegible]

新男爵 松岡康毅氏

新男爵 奥田義人氏

新任樞密顧問官 一木喜德郎氏

**奥田義人氏** は鳥取縣士族[illegible]氏の三男にして慶應元年六月十四日(本年五十三歳)鳥取に生れ明治十七年帝大法學部を出で[illegible]農商務、文部各次官、法制局長官等に歴任し[illegible]鳥取市より三たび代議士に當選したり是より先き法學博士の學位を授けられ[illegible]文部、司法各大臣に任ぜられ最近東京市長となれることは人の知る所の如し夫人八重子(五〇)は兵庫縣士族武井正平氏の二女にして令息は長男剛郎氏(三十)の外次男明孝(二六)三男正博(一四)長女咲子(二六)は子爵海軍大尉松平忠威氏に嫁し次女龍子(二三)三女文子(二〇)四女富子(一八)は家庭にあり

## ◎朱家寶氏入京

帝政反對の頭目なる元直隸省長朱家寶氏は十四日朝入京したり(東京特電)

## ◎東郷中將園遊會

東郷鎭海要港部司令官は十四日午後五時鎭海馬山其他の官民多數を招待し全快の自祝宴を開きたるが盛會なりし(馬山特電)

## ◎總督邸晩餐會

長谷川總督は既記の如く十四日午後七時より秋山大將、白水中將を官邸に招待送別宴を開く、軍よりは市川參謀長以下高級參謀、高級副官、師團よりは立花師團長以下參謀副官等出席し總督府側よりは山縣政務總監、宇佐美、國分、小原、鈴木の各長官、荻田、人見兩局長、釜屋、高橋兩武官、齋藤大島兩副官、遠藤神田兩秘書官等陪席す

## ◎地查局制改正

臨時土地調査局事務分掌規程中改正の件は十五日の官報により訓令を以て發布の事となれり這は同規則第一條中の測地課を削り第三條第二號即ち技術課に於ける事務圖根、細部兩測量及び製圖の監督に關する事項を削除し第五條即ち測地課に於ける事務事項を削除したるものなり

## ◎定例長官會議

十四日は定例長官會議日なるより長谷川總督山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前九時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

## ◎辭令

十三日附を以て左の通り任命ありたり

總督府技手 鈴木哲郎
任總督府技師 叙高等官七等九級俸下賜 農商工務課勤務を命ず

## ◎理財課長決定

入江前理財課長轉任以來缺員中なりし總督府理財課長は關稅課長有賀光豐氏兼任に決し十四日辭令ありたり

## ◎京城組合銀行の一致 約手支拂場所問題の解決詳報

京城に於ける當所拂ひ約束手形の支拂場所は特種の習慣並に色々の關係上之れを取引銀行に指定するもの少なく

▲市中流通の手形 の約八割弱は居宅拂ひに指定し居れり故に之が取立其他に頗る不便を感じ不利を來す事少からず又銀行より見れば有力商人は別として其手形振出人が果して銀行に當座取引を有す位の資力信用ある人なるや否やを鑑別する事も若干困難の事情あり旁々屢報の如く京城商業會議所にては當所拂ひ約手の振出人をして支拂ひ場所を取引銀行に指定せしむる件に付諸種盡力する所ありし結局

▲實業家側 の意見を纏め七月十三日附京城組合銀行に對し其の援助を交渉中なりしが元々商業手形の支拂場所を居宅に指定する如きは殆んど內地各都市には例を見ざる事にはあり銀行側に於ても協議の結果取引銀行を支拂場所とせる手形の發行並に授受の促進に對し及ぶ丈けの盡力をなす事となりしも何分京城組合銀行は直接政府の監督を受くる特種銀行あり、朝鮮人を重なる取引先となすものあり、內地人を主要の取引先とするものあり更に內地銀行の支店もあり其の成立組織の異なるに從ひ業務取扱方針を異にするため其の約手問題に對する各銀行の意見を全然一致せしむる事は困難の觀あり其の一方法を明示し離きに似たるも大體に於て(一)京城銀行集會所組合銀行に於ては將來事情止むを得ざる場合の外は可成

▲取引銀行 を支拂場所とせざる手形の割引に應ぜざる事(二)銀行を支拂場所とする手形は事情の許す限り割引日步を低減する事の二項を決定美濃部氏の名により十三日商業會議所に通知したり尚ほ右の如く銀行團の態度一致に付直ちに約手の居宅拂ひ指定跡を絕つべしとは事實上云ふを得ざるも少なくも直に相當の反響は現はるべく又漸次此弊風は除去せらるゝものと觀測して差支なきものゝ如し

## ◎練習艦隊歸航

岩村海軍少將の率ふる練習艦隊常磐、八雲は練習航海の任務を了へ十七日橫須賀軍港に歸航すべき旨其筋へ通知ありたり

## ◎王殿下御滿足

十三日昌德宮に於ける午餐會の席上長谷川總督は李王並に李太王殿下に對し當日御招待の御禮並に歸任の挨拶を爲せるに兩殿下には共に其の勞を犒はれ且つ李王殿下の內地御成りの節は終始總督の斡旋を喜ぶ旨を陳べられ且つ官民上下の歡迎を衷心感謝せられたりと承る

## ◎兩將軍出發期

新軍事參議官秋山好古大將下の關要塞司令官白水淡中將及び山形步兵聯隊附となりし松井中佐は十五日午前八時四十二分龍山驛發列車にて南行夫々赴任す

## ◎宮尾長官退京

十三日午後七時入京せる新任關東都督府民政長官宮尾舜治氏は十四日午前九時總督府に長谷川總督山縣政務總監以下各部長官等を訪問入京の挨拶を爲し夫れより總督府事務官の案內にて東洋拓殖會社を訪ひ樓上にて石塚總裁松平川上兩理事と會談し少時にして辭去後朝鮮銀行に赴き大田理事を訪問したる上昌德宮苑其他の市中を見物せり氏は同日午後九時四十分南大門驛發汽車にて退京赴任の筈なり

## 議政府一見記

三笑生

○議政府驛頭より一筆啓上致候。記者は十二日晩餐後、散策がてら飄然として往十里行電車に身を托し終點まで來り候處、恰かも京元北行列車の龍山方面より疾走し來るに出會致候間、急に汽車に乘つて見たき氣になり、同列車に身を投じ申候。只譯もなしに飛乘りたる次第にて、行先も目的も無かりしが、不圖議政府にて農園經營の友人某を訪問し、旁々豪雨見舞を致さんと方針を定め申候。

(註)車窓に倚りて、往十里一帶の夕景を眺めたる時、小生は一種爽快の感に打たれ申候、そは此大自然の靈氣に觸れたりとも申すべきか、蒼々たる一帶の林、青々たる楊柳の並木の稻田の中に立てる山手に數軒の亭々たる松を背景させる茅屋、白き水の流れ、颯々と流るゝ青嵐、[illegible]の遙よなるべし、悠々として緩き步を運べる牛、鬱蒼たる北漢山の列車の走るに隨つて其形の變化極りなき、殊に夕陽の雲の美事なる、一草一木も皆詩情をそゝらざるものとしては無く、記者に其詩藻なきを恨とするのみ。而して此大自然は[illegible]驛にて一段落を告ぐ、然し如何なる名工畫伯も此の大自然を寫すとは到底六ケ敷かるべく、[illegible]禪に解脫たるの士は、午後六時南大門驛發の京元列車に搭じて、此の大自然に接せよ。百年の壽命も延びたる心地可致、小生の言の決して虛ならざるを首肯せらるゝ事と存候。

○此地方一帶にも、前日の豪雨にて被害多かるべしと四方に目を配りつゝ進行致候得共それらしき處一も見當り不申、只列車の到る處に於て徐行するに、サテハ水害の跡もなと取調候處、右は木材の假橋を石材にて架け換へ中なるを知り安神致候。

○午後七時十八分議政府驛に下車致候。驛には何處も此處も薪の山を築き居り候。同地は鐵道開通後著しき發展を告げ、今や郡廳、憲兵分遣所、地方法院出張所、金融組合、郵便所、尋常小學校、普通小學校等の機關も備り、日に增し繁榮を加へ、京元線中鐵原を凌駕すべき將來を有する有望の個處として注目せられ、近來內地人の移住者も頗る多く、乘降客の多きは京元線各驛中其右に出る者多からざるべしと驛員の一人は語り居り候。

○尚當地は農事經營地としても有望の土地にて子爵趙重應氏は附近に四十五町步の未墾地を卜し、目下內地小作人を入れて之が開墾に著手中、其他內地人にして農園經營のものも二三有之候由聞及候。其他御紹介致すべき事も多かるべしと存候得共同夜十時十八分發列車にて歸京の途に付き候事とて僅かに往復四時間に過ぎず、土地の當局者並に有志者の謦咳に接して、親しく其意見を徵するの機會を得ざりしは、誠に遺憾に存候。早々

## ◎木材流失採取

過般の豪雨に依り鴨綠江一時に增水し爲めに同江岸及び附近に繫留堆積し居たる木材の流失せしもの少からず營林廠の如きは約七千尺〆を流失せしが其の內四千尺〆を採取し更に同廠所有以外の木材一萬尺〆を收得

## ◎製糸會社出願

三井物產高野支店長等八名の發企に係る朝鮮製絲會社創設の件に就きては本紙既報の通りなるが其の後發企人側の協定は無論諸般の計畫全部完成せるより今回京畿道廳に對して同社設立許可申請の手續を履行したり

## ◎理事長入京期

國澤滿鐵理事長は十五日朝大連を出發し十七日入京一泊京城當局其他に會同の上來る二十五日東京に開催せらるべき臨時總會臨場の爲め東上すべしと

## ◎吉田參謀出發

支那朝鮮視察の爲め同地方に出張せる海軍々令部參謀吉田海軍少將は十三日夕入京十四日午前八時三十分南大門驛發汽車にて釜山に向へり

## ◎城法院長歸任

[illegible]裁判所事務檢閲の爲め北鮮地方を巡視中なりし城京城覆審法院長は十三日午後五時十分元山よりの列車にて歸任せり

## ◎持地長官歸任

嚴父逝去の爲め郷里福島縣に歸省せし持地遞信局長官は十三日午後九時四十分の南大門驛延著の列車にて歸任せり

## ◎鮮銀の長官招待

朝鮮銀行にては十三日午後七時入京せし宮尾關東都督府民政長官を同夜千代本に招待し張宴せしが銀行よりは大田理事其他列席したり

## ◎警務部長歡迎會

子爵趙重應氏を始めとし在京鮮人有志八十餘名の國友京畿道警務部長歡迎會は既報の如く十三日午後六時三十分より明月館にて開催せられたり發起人趙重應子は目下北漢山に避暑中なるを以て朝鮮商業銀行長趙鎭泰氏主人側を代表して歡迎の辭を述べ國友警務部長は石漢城銀行調査課長の通譯にて一場の挨拶を兼ねて將來の希望を述べ宴に移りたるが廣橋漢南茶洞新彰の四組合より選り抜きたる妓生は酒間を斡旋し倚歌舞合奏等の餘興あり主客十分の歡を盡して散會したるは午後九時頃なりき倚京城府尹松井警官練習所長警務部各警察署長京城本町鍾路兩署長京城第一龍山兩分隊長阿部本社長等も陪賓として招待せられたり

## ◎大連より啓止

八月十二日 通信員

▲新舊都督送迎會 新任關東都督中村雄次郎男は十一日都督府民政部及び陸軍部に於て前都督中村覺將軍より事務の引繼を受け每日官邸より都督府へ出勤して事務を統裁し居れるが長官も十五日には著任の上白仁前長官との間に事務の引繼も了るべければ旅順に於ては來る十七日を以て新舊都督、新舊民政長官及び新警務總長隈部少將と前總長佐藤友熊氏との送迎會を兼ねて官民聯合の一大送迎會開催の豫定なり場所は新市街後樂園にして總員三百名以上に達する見込なりと又大連に於ける大送迎會は多分廿日頃なるべし

▲國澤理事長上京 滿鐵理事長國澤新兵衛氏は十四日大連出發朝鮮經由上京の途に就くべく久保庶務課長は多分同行すべし國澤氏今回の上京は會社總會の爲めにして定款の改正、鮮鐵委託經營の件、理事選任の件、其他幾多の用件あり多分一箇月に亘りて滯京すべく其の歸途には朝鮮鐵道の視察をなしたき希望の由なれども社用の都合にては或は其の視察を後廻しとして歸社を急ぐの餘儀なきに至るやも知れずと

▲安東の施設改良 滿鮮連絡統一の第一步として安東に於ける從來の設備は大改良を施さるべし從來鮮鐵側は新義州、滿鐵側は安東に於て二重施設をなし稅關の取調及び乘替へ等悉く之を區分して國境的取扱ひをなし來りたるが將來は之を改め兩鐵道が眞に同一經營に出づることを具體的に示す爲め第一著に改良を施して面目を一新すべしと久保庶務課長は記者に語れり

▲朝鮮大豆移入 大連重要物產取引所八月限り大豆大受渡の爲め買方の巨商三井物產會社及び小寺洋行は朝鮮大豆を大連に移入し來り之を受渡に引渡さんと準備中なるが大連取引所に於ては評議員會を開き其の許可に付き詮議中なり、由來朝鮮大豆は外形美麗にして豆腐菓子等の原料に使用する時は滿洲大豆以上なれども油房の原料として豆油を搾出するには其の含油分少なき爲め到底滿洲大豆に匹敵すること能はず隨つて之が受渡を許すべきや否やといふことは大連取引所に於ける大問題なり殊に今八月十五日の受渡期日に於て千四百車四萬二千噸の大受渡行はるべく是れ實に大連取引所空前の大受渡にして其の成行に就ては一の社會問題として注意せられつゝあり尙詳細は後報すべし、匆々

## 人事消息

▲富田儀作氏(鎭南浦實業家) 十四日朝入京尾張館へ
▲瀬古幸之助氏(三井物產支店長) 同上天眞樓へ
▲香椎源太郎氏(釜山水產業) 同上城館へ
▲奥田鶴藏氏(代議士) 同上
▲木村林次郎氏(三菱社員) 十四日夜入京天眞樓へ投宿の筈
▲京城駐在英國總領事夫妻 十三日午後歸京
▲インチ氏夫妻(米國陸軍砲兵少佐) 十三日午後內地に向け通過
▲藤川利三郎氏(平北道長官) 十三日午後內地より入京浦尾へ
▲小出林學博士 十三日午後新義州へ
▲安藤貫三郎氏(世界公論社長) 十三日午後入京浦尾へ

## ◎取消(宮尾長官談話中)

十四日朝刊「宮尾民政長官と語る」の記事中都督府の豫算に關する件は同氏に對し往訪記者の質問せる趣意の文意上誤まりて長官の談話と混同せるにて右は長官の談話にあらざることを正誤し茲に取消す

汽車時間表 [illegible]

# 長白山彙を跋渉して(二)

## ▽山また山、豹君の示威運動△

◇神戸の豹は小心もの◇一面の針葉樹帯◇やまうぐひす◇

白頭山の大深森に這入つたわたくしは、殆んど大古のまゝの自然の子になり了つた。高い岩角から、碧空を高く望むこともあれば、また

◆暗い密林を わけ行く時もあつた。山には虎も居よう、熊も居よう、猿も居よう。彼等はみんな私の友達のやうに思はれてならぬ。殊に親愛なる豹君には高い岩角で度々お眼にかゝつた。然るに件の豹君はいつも泰然として岩角を過ぎるのであつた。わたくしは其の後も朝鮮境ひの山で度々豹君に逢つたが、君は人間を見る度に自分の尻尾を勇ましく打ち振りつゝその

◆力強い姿を 一層強く見せようとするらしい。これは人間仲間にあつてもよく電車の中の女が無暗に氣取るやうに一種の示威運動であるからして格別恐がるにもあたらぬと思つた。そして同じ豹仲間とは云ひながら内地の神戸の豹君などの如く、狭いコセ〳〵した了簡の無いのは何よりであつた。これも一つは白頭山の中に船成金や鑛山成金が自動車を飛ばされぬお蔭だらうとつく〴〵感に堪へぬ次第であつた。

しかし、顧みて自分の

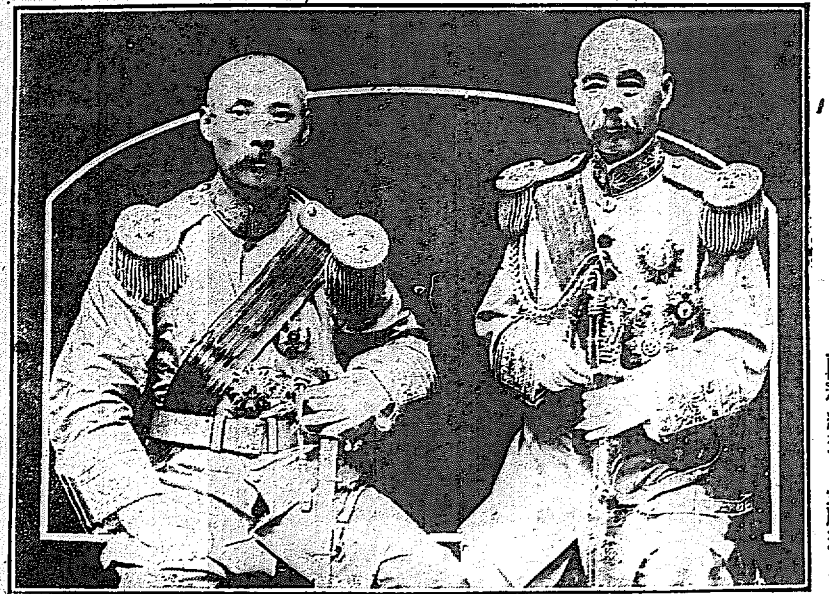
◆『高山植物成金』志望に 思ひ至れば心中自ら忸怩たるの感なき能はずでもあつた。わたくしは渇すれば溪流を掬むだ。水はまた氷のやうで、京城の水道の湯のやうなのとは別物の感があつた。喰物は總てビスケットを噛た。例の鴨緑江節の文句には『木の實茄の實たべても……』とあれど白頭山麓には生憎那麼ものが一つもなかつた。さうかと云つて如何に天然生活の野生男と雖もまだ蛇を舐る程の勇氣分にもなれなかつた。行き行きてわたしは山鶯ばかりの谿に出た。

◆石南木許り の谿に出たまた加五里、牛耳洞と同一種の山櫻の林も見た。それに此の邊の面白い

現象は、總て一種類の植物が同じ所に集まつて居ることである。白樺は白樺、落葉松は落葉松と何れも皆針葉帯、闊葉樹帯を爲して居る。暗い林には蛇かとまがう鮮苔の三四尺の長さに垂れ下つたのもある。私はだん〳〵山高く登つて來た。小高い處から瞰下して見ると遥かに

◆北の滿洲側 には山また山、峰また峰。何れも翠碧したたらむばかりの深山で、時々無心の白雲は悠々として松花江の彼方に動きつゝある。わたしは岩角に憩ひながら浪花節をうなつた。聞き惚れるやうなわたしの美音は、千古の密林の梢を渡りつゝ遥かに谷に消えて行く。考へて見ると

◆むかしから 今日まで私の今立つた岩角に誰れが來たらう。遠く人里を離れた此の大森林には可愛らしい山鶯の鳴く音より他に、そよとも松籟のさつとかすめ去る他に、さらにかさこそも音がない。わたしの胸は今大自然の呼動と共に清淨な呼吸を共にしてゐるのである(山石桁門)



◆支那兩巨頭の最近撮影 (右)大總統馮國璋氏 (左)國務總理段祺瑞氏

# 眼も當られぬ凄慘の光景

## 全滅した沃川邑=避難民は何する

十一日の豪雨に全滅せる忠清道沃川(京釜線沃川驛附近)の水害詳報を聞くに同日は未明總督の列車北行頃まで晴天なりしも、午前七時半頃より豪雨到り同九時半まで僅々二時間許りの間に附近の河流は濁流滔々たる光景となり

◆沃川の官民 は何れも出にて憲兵分隊前より郡衙に通ずる橋梁の警戒中俄然邑内より東南方の堤防缺潰し濁流は一瀉千里の勢にて沃川邑全部を洗ひたれば忽ちにして全戸數二百七十五戸の中十二戸の流失家屋を出し倒潰半倒潰二十九戸に上り比較的被害輕き家にても床上浸水二尺以上に達したれば沃川は殆んど全滅の姿にて損害額約二萬圓なりと又避難民は何れも

◆赤裸のまゝ にて停車場に集りしが溺死者は鮮人の大人二名小兒二名合計四名にして憲兵分隊にては時枝分隊長、佐野班長共水害救助中自家に赴く暇なく佐野氏の如きは家屋全部土砂に埋もれ漸く一丈餘の土中より軍服を掘り出したる程なりしといふ猶ほ同地の内地人雜貨商にて

◆纔かに小兒 と都の商品著の身のみを持ち出したるまゝにて著の身著の儘の婦人ありしが何れも慘状眼もあてられぬ光景なりとまた十二日までは郡衙より焚出しを給與したり

# 脱線貨車四哩を走る

## 大田沃川間に於ける未曾有の鐵道事故=枕木の大破損

十三日朝南大門驛に著く京釜線の夜行列車は約十分間餘を遅れた、何故遅れたかと云ふに未曾有破天荒な鐵道事故のためである、三哩餘殆んど四哩近く脱線の貨車が軌床を走つたと云ふ虛説のやうな事實の爲めである、丁度十三日の午前四時まへ

▲七輛を聯結 した京釜線の不定期貨物列車は大田を出て沃川に向つた、其の間は兩三日前の豪雨出水で多大な損害を受け漸く應急の修繕が出來上つてゐる計りだから、件の貨物列車は腫物にでも障るやうに徐行してゐた、所が如何なる機會か其七輛の中間に挾まつてゐる一輛の貨車が脱線したらしい、之れが普通の速力で走つてゐる時ならすぐ運轉手にも車掌にも分らねばならぬ筈だが何分

▲歩くより遅 い位の徐行だし暗くはあるし、氣が附かなかつたそして約四哩も脱線した儘引摺つて行きある橋の際に差し覓り、漸くそれと知つて大騷ぎとなつた、然も脱線貨車に轢かれた四哩の軌床の枕木はズーと折れたり凹んだり割られたりしてゐた、之れが未曾有の出來事だそうだ、但し件の貨物列車は脱線貨車を衝して前行したが、丁度午前四時半そこに

▲差し覓つて 來た多山發の夜行列車は右の如き線路の障碍並に脱線にあつて通過出來ず應急修理の成る十時迄を空しく沃川に待ち四百近い乘客に嚴しい思をさせたのであつた

# ◆馬山驛助役等竊盜事件公判

馬山驛助役茅野周平(三二)は去月十七日同驛夫平本光善(二三)が同驛内にありし中島運送店扱ひの貨物中竹材二本を拔取り居るを見て之を制止せんとはせず自分も入用なれば二三本拔取り置けと命じ又た同驛夫小林長三郎、金順一の兩名も同じく其竹を一本盜みたることを發覺し去月三十一日馬山署へ送られたるが愈々有罪と決し十一日同馬山署へ拘引せられ馬山法院支廳に送致され四日午前十時馬山支廳にて第一回公判開始されたるが傍聽者頗る多かりし(馬山特電)

# ●瓜生海軍大將の養女 シャトルにて銃殺さる

シヤトル來電に曰く、同地に在留の文士杉井豐なるもの同地在住の渡邊久三郎氏妻初子を拳銃にて射殺し自分も直ちに其拳銃にて自殺を遂げたるが原因其他に就ては詳電なきも初子は瓜生男の養女にして學習院女學部長松本源太郎氏の媒介により前記渡邊氏の夫人となりし者也と(大阪特電)

# ●惡周旋人の口車に乘つて内地へ

## 鮮人夫七十三名中途で同行を拒む

去十一日午後一時四十五分上野驛發列車にて山形縣木友炭山に赴くべき朝鮮人夫百五十名中七十七名は列車に乘り込みたるも他の七十三名は如何にするも列車に乘らず駄々を捏ねて應ぜざるより已むを得ず上野署に連行き其の原因に就き取調中なりしところ漸く其の理由判明し全く其の曲鮮人側に非ずして引率者の惡しきに原因すること判明し爲に引率者は其の筋より嚴重なる說諭を受くるに至れり今事の次第を聞くに引率者は彼等の食事に飯の菜として唐辛子を與ふるのみなるを以て鮮人側は最初周旋人の甘言に乘せられたることを憤慨して乘車を拒みたる次第なるが鮮人は此種の惡周旋人に欺かれざる事を要すと(東京特電)

# ●熊本縣 大洪水

## 鹿兒島本線不通

熊本縣多摩川沿岸は十二日來の豪雨にて大洪水ありしため堤防缺潰して溺死者五十名を出すに至り尚ほ鐵道線路破壞のため鹿兒島本線は不通となれり(大阪特電)

# ●窒素肥料會社 浸水して爆發

鹿兒島縣有佐、八代間の出水にて附近にある窒素肥料會社へ浸水せし爲め同社に貯藏しありしカーバイト爆發して大混雜を極めたり(大阪特電)

# ●平壤氷品薄となる

近く一貫双十錢に値上げ

本年は夏季に於て降雨なきと一面暑氣酷烈なるため平壤の飲料氷は市内は勿論鎭南浦、安州、兼二浦、沙里院等の京義沿線に夥しき氷の需用を見たる結果既に八分通りの氷を賣盡し近年稀なる好成績なるが在庫品々薄のため近々値上げを實行し一貫卸賣十錢とする由因に現在倉氷は平松商店五千貫田中商店約五千貫京德商店約三千貫魚市場の一萬貫牧野氷店七千貫黑川商店五千貫にして現在相場は一貫七錢なり(平壤)

# ●漣川水害別報

京畿道漣川郡東南川増水三十尺に達し流失家屋五戸、溺死者六名を出せり溺死中郡書記一名あり流失家屋中に郵便所あり所長外五名家屋と共に流され河流の鐵橋桁に縋り居るを鐵道工夫發見し屋根を破りて救助したり(元山特電)

## 灯ともし頃

▲白水將軍過日龍山階行社に留別の宴を開いたが將軍の挨拶の内に曰く▲俺は一年有半の獨身生活を續けて居つたが多くの人達から『獨身生活は嘸ぞ不自由で淋しかろう』と同情されたが▲俺は獨身生活をしても些しも淋しくない法をやつて居つた即ち俺は暇さへあれば讀書をする手習をする詩作に耽つて居た▲それで俺の坐つて居る十疊の間には釋迦も來れば孔子もやつて來る老子も尋ねて來るし書聖の王羲之も來ると云ふ風で却々淋しくはない▲李白も來れば杜子美も來ると遣つてのけて座に就いた▲と傍に聞いて居つた秋山大將が『オイそれは眞實かい君の處へはそんな御友達が集つて賑やすか知れぬが俺もこれで北淸に二年支那で一年朝鮮で一年獨身生活を爲て見たが事實淋しいものだよ▲と一拔を與ると蒋州將軍は御友達の内でも達磨さまが何時も常客だつたらうと揶揄する▲白水將軍も隨處隨縁の妙諦が手に入つて居て官邸の十疊の境界を出で一足一たび宴會の席に列すると忽ち生遂春を生じ來る▲將軍は毎時もお顏に似合ぬ美聲で詩を吟じたり俗謠を唄つたものだ▲特に將軍の十八番は『世の中渡るには豆腐が手本豆で四角で柔らかで……』と其の調も一種獨特で白水式とでも云ふべきであらう▲政勇、丸子、玉子等の諸妓が何時も御相手を承つて頻りに骨を折つてたものだが却々白水調の堂に入れず僅かに政勇一人其の欛を得た印可を得かけたさうなが丸子、玉子等に至つては僅かに其の皮を得或は其の肉を得たばかりであるさうな

# ●芥子密培者檢擧

慶北慶州郡にて西長醫生其他有力者數名共謀し密かに箭隠き土地に阿片製造の目的にて芥子を栽培中發覺して檢擧され目下取調中

# 讀者文藝 (一等に五十錢分を呈す)

▲謎『電燈』と掛けて

▲入身と解く心は拭いて(吹いて)も消ぬの 平安北道義州 橋本孤島

▲相手ない王突と解く心は一人で突く(獨で點く) 群山 ケイエム生

▲鉛筆の製造所と解く心は芯(?)光(點工)ず 京城 香海 和翁

▲三井寺の晩鐘と解く心は夕方につく 龍山 多美郎

# 商況

## 債券現物特電

十四日引來値

| | |
|---|---|
| 東洋拓殖 | 七九、〇〇 |
| 京城電氣 | [illegible] |
| 朝鮮銀行 | 一四九、〇〇 |
| 南滿鐵道 | 一四七、五〇 |

## 東京公債直取引 特電

九六、七〇

## 深川在米特電

十四日正米値

一四、八五 一三、六一 一三、〇四 一三、〇〇

## 東京期米特電

十四日前場 八月限 二三、一一 ... 二三、四五 二三、四〇 二三、〇〇(?)

## 大阪株式

十四日前場 各銘柄 [illegible]

## 大阪三品特電

十四日前場 [illegible]

## 大阪期米特電

十四日前場 八月限 四二、五〇 九月限 四二、一〇 十月限 四二、〇〇 十一月限 四三、〇〇 十二月限 四三、九〇 一月限 四三、五九五(?)

## 下關期米特電

十四日前場 寄付 二三、三一 止 二三、八四

## 雜報

### ●絹系氣鈍ぶり

米の先限四百五十圓突破に行悩み、なりし定期絲系は日歩明けに至り人氣一轉して富限ヤ五圓九限十七圓其他何れも九圓乃至十二圓安に寄せて一旦後場寄引返へしの報ありしも最近に除く後再び手崩れとなり餘勢は

### 更に一段の不勢を

辿り富限のみは四百三十一圓五十錢と後ばらざりしも其他

### 各期は何れも小安

きなり富限は三銘十二圓八十錢と前日より十錢方引締め居れり併し氣配は後氣崩を報せり

### ●銅價底强し

倫敦銅は依然百三十五磅に居据り巴里に於ける相場また百六十二磅の高値より落ちて先月中百四十五磅に下りしも保合ひ居れるがこは米國側の影響にあらざるなく氣に悪しきにあらざるも

### 大勢は既に氣直りたるらしく

### 内地銅は最近一圓

方引締りて七十六圓以上に進み氣配は底堅き行きを示しつゝあり

### ●鐵類循環高

内地に於ける鐵材の思惑力日に〳〵熾んにして相場は引續き天井知らずの勢ひなるを以つて品物は不足と思ひ居れる在庫持ち向は品薄に鑑み今後の鐵類は甚しく高値に送るべしとは再び

### 鐵板類

## ●値上がり見込み更に約一割方の

此處大阪の高誹を入れて更に約一割方の値上がりとなり市中値段は一二、六

### 物 四十六七圓

東四十四圓さなれるが氣勢は益々各種需要的品望を高ぜん形勢なるを以つて近來稀なる高値に買入手控ね居なりし需要者側も此際却つて狼狽的買進みとなり取引又頗る活潑なり

### ●洋釘更に昂騰

は前報細物三圓太物二圓方の値上がりを受けて大阪の高報に十四日更に各一一圓の昂騰を示せり市中値段は三吋三十二圓七分五厘四十圓丁度に上れり

### ●和洋紙愈强硬

洋紙類は各品とも先月來に引き續きなほ狂騰し殆んど天井知らずの趨勢にあり此中和紙原料の趨(ミツマタ)は羽二重拔系としての需用愈々旺盛なる

### 製紙材料缺乏

のため品薄高を告げ且需用期近かんとするにより就中ザラ紙及模造紙最も割高に當り最近國地相場はザラ八紙が市中引合値は八圓五十錢迄なれば現今の實價とはなほ七十錢方の値開きあるによりて第三第二の値上げあるべく模造紙は七月上旬に比して正斤七錢方騰貴して三十錢となれるを初めとして其他各種とも皆多少の割高となれるが依然氣配は強硬にして日々新値を追ひつゝあり

### ●石炭入札不調

の如く總督府に於いて昨十三日石炭指名入札を行ひたるが豫算超過せるものゝ如く不調に了り目下協議中なれ

### 多分再入札に附せらる

しと云ふ今回は壬子同様の臨時物件年より割り上げ不日入札さるゝ客なるも之等内地一等炭は品揃底につき手持筋は寧ろ小賣行ちに希望し居れる事とて

### 兩者の價格には可成りの値開

きあれば之れまた多少の鬩ぎは免かれざるべき模様なり

### ●鮮魚の被害

十一日以來の鐵道線故障のため、中途りの鮮魚類が蒙りたる影響は左の如し十一日降雨により午後京義線不通となるや平壤及び地方北向けの魚類は途中停滞、其一部十二日に至り市中に賣り放たれたるが今日は特別品に限られたるも十三日に到り京元線及び京釜線不通の爲め一時に市場に到着し十三日京元線道しに元山よりサラ入荷せり京義線の品は該地に至り釜山三浪津附近に損所となり一部入荷のありたるも延著の爲め立行ひたるありし線路不通の爲め十四日京元の品は到着せしも依然不通の爲め一部入荷の状態にて處分し或は積み返したるもあり

### 告げ價格騰貴

以上により成行連日品不足を告げ價格騰貴し同一の品を前日より二三割方ほど高く賣捌くの已むなき状態となれり(?)

### ●北鮮産澱粉

北鮮産澱粉は今尚多少古品の殘存ある模様にて値段は十二圓入一佐十三圓五十錢處也

### ●新鹽鰤市況

近頃三商店に入荷ありし鰤は鹽蒸中に品薄みを生じたれば鹽鰤の値段に迎りしものなく共内一等ものは入荷不勢の關係上手合せ行はれしもの又最上乘の値段に至りしものも一時の逸品にて

### ●罐詰類高持合

罐詰類は高値反動として辛くも持合なるが魚菜類は原料の高價と現物薄の爲め手緊し昂貨物中パイナップルの新物出廻りしも氣配は強硬なるが各品概して値高の爲め賣行き良好ならず

### 京城正米

好天氣安の機先賣物相常に現はれつゝありと雖も仁川正米氣配依然強硬を持續せる爲め敢て賣手も安値に賣應せず從つて人氣の割に相場は更に變化なし

## 天氣

晴れ時々曇り

▲八月十五日 (十四日午後六時より十五日午後六時迄)

## 南大門の廻穀

| | | | |
|---|---|---|---|
| 東拵大麥 | 二三五叺 | 南市玄米 | 四二叺 |
| 東拵大麥 | 五六叺 | 東讃種麥 | 六六叺 |
| 宜川大麥 | 一一五叺 | 水原白米 | 二四叺 |
| 鳥山白米 | 二七叺 | 水原小豆 | 二六叺 |
| 南浦大麥 | 三〇〇叺 | 水原黑豆 | 二七叺 |
| 新義小麥 | 二一〇叺 | 水原白米 | 二〇叺 |
| 新義小麥 | 三一五叺 | 東拵麥 | 二六叺 |
| 南方玄米 | 一六〇叺 | 南市大麥 | 四〇叺 |
| 鳥山白米 | 二五五叺 | 小井里白 | 四〇叺 |
| 郭山大麥 | 一二〇叺 | 興水裸麥 | 二八叺 |
| 郭山玄米 | 五三叺 | 興水小麥 | 五六叺 |
| 新義州麥 | 四三叺 | 南浦裸麥 | 四五叺 |

此處大阪の延期米は大阪方面の變化に依り一方買方も眼先の天候安定を恐れ一般買控ねの方針を取りて見送り居れば此鼻或は賣方より買分圓を用し來らざるかとの觀察へもあり

## 釜山穀物 (十三日)

▲正米(保合) 本邦大阪定期米は廿三圓臺を中心として小往來保合の商状にして本日寄入電は先二十二圓八十八錢との小甘き報あり當市場賣り物としては依然物足りならず本朝市場買氣人は依然特米互用補充口よりの買観きに外ならずして各物米口も引續き白米の買注文促し來らざるとの筆とて一向目立ちたる買氣なく保合の商狀を示して相場は保合圈際なり▲新大豆新豆大豆 岡野貿易部へ入荷あり神戸の松尾商店三叺井谷洗盛五島商會へ各一叺宛約定行はれたり

## 生魚市場

總出來高二一二〇、新六十六圓、中白八六圓、玄米一九五二圓、新大豆六圓、小麥一六六圓

京釜線入荷なきも京元京仁の兩線より可成り到着順調となる京城魚市場建値左の如し

タイ(群山)二〇、(仁川)三〇、車エビ六〇、サヮラ一〇、東シビ二〇、ス、キ二四、ハモ二〇、アナゴ二〇、ニベ九、アイ七〇、マス三三

## 仁川期米

▲十四日前場 (底强し)

▲兵庫前寄二十二錢 大阪天候晴天前寄二十二圓八十四錢と昨止より七錢高の入電にて當地寄付十九圓二十七錢と先十九圓二十七錢に寄付き五錢と六錢高

## 市場零聞

▲保合底强し 一昨日來の天候は晴天にて昨夜來の小雨快晴となり後場下落りの後先今朝大阪の高寄を受けて十九圓二十七錢と寄付きたるが戻りは賣物多く五錢と押したり引續き八錢と押して戻りは再び五錢と押したるも當時の强氣

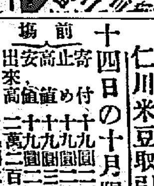
▲十四日前場 (十九圓二十七錢出來)

▲先限は出來不申 ▲中限は出來不申

高先十九圓二十七錢先十九圓二十六錢高に寄付き八錢と先は三十錢と押し合ひて十錢方と押したるも買物多く七錢に底强き成行を示して引

## ▲依然强硬

當限の大米の釜山積出しは數乃至二米界の强硬を持續し數年來見ざる程度となりたる結果氣配は大阪の不冷を受けても依然の形勢一變硬にて小口賣方の慎重なる手控へ總て賣物乏しく三十二錢と押したるも此際賣の邪を以て依然强硬の成行を示したり




●仁川海岸町 ●仲買 ●電話 三二八

株式會社 仁川米豆取引所仲買人 全 高田仲買店 仁川海岸町 三丁目 電話長一〇〇 電話長一一九 電信略符メタ 振替三八一 ●定期米賣買委託 一般大阪期米 賣付 推可申上候 ●商品御注文は御分なく御座候


## 仁川米豆取引所

十四日の十月限

前場

| | |
|---|---|
| 寄付 | 十九圓十七錢 |
| 止め | 十九圓十七錢 |
| 高値 | 十九圓三十錢 |
| 安値 | 十九圓二十五錢 |
| 出來 | 二萬二百石 |

平均値段

| | |
|---|---|
| 一節 | 十九圓二十六錢 |
| 二節 | 十九圓二十八錢 |
| 三節 | 十九圓二十九錢 |
| 四節 | 十九圓二十七錢 |
| 五節 | 十九圓二十七錢 |

賣買取組高

| | | |
|---|---|---|
| 八月限 | 一萬四千三百石 | 七高 |
| 九月限 | 二萬五千五百五十石 | 六高 |
| 十月限 | 三萬九千六百五十石 | 六高 |
| 前日と比較 | | 五高 |

十三日後場 一九、二二〇 一九、二二一 一九、二二四 一九、二二〇

## 尚幾多の大厄日

あり鮮地に於ける襲來なしとするも不幸其當時に至つて本土に襲來する事あらんか忽ち人氣の上に大動搖を來すべく今や大天災期に接近しつゝある場合如何なる動機に依つて大變動を惹起するや難計今後の米界は一に天候に依るものあらん

▲同店の賣二千餘石買六千餘石
▲同店の賣三千餘石買千餘石
▲同店の賣二千餘石買三千餘石
▲同店の賣三千餘石買千餘石
▲同店の賣千餘石買二千餘石
▲同店の賣二千餘石買二千餘石
▲同店の賣二千餘石買千餘石
▲同店の賣千餘石買二千餘石
▲同店の賣千餘石買千餘石
▲同店の賣千餘石買千餘石
▲同店の賣千餘石買千餘石

## ▲市場氣乘薄

(前場概況) 昨日十二ザレたるより賣方の益警戒する處となりし爲に存外の過雨内なりしが今前場も一向氣乘りせざる鬪り合にて達觀小口商内に止まりたるがのの賣物が目立ちたるに過ぎず然るに人氣は賣り過ぎの反動と周近の低鉄强硬に何となく底强き壁があつた

## ▲保合岐れ前提

前場の保合以來金融急落を醸出したるも大阪の立直りに遅れ前日十九圓三十七錢と跳ね返し爾來大保合を持續し新るが市場の形勢は氣乘り薄の裡に進み氣を帶び近く何れにか保合岐れを來すべき新動機や何時なるかと思はれるが果して何時なるか

## ▲天候と人氣

一昨日來の天候も一朝降雨となるや忽ち各地に洪水の報ありたるも時期の早かりしと天候の恢復にて洪水も左したる惡影響を及ぼしたりとも思はれず然るに數度の降雨に

▲下 し恰も發芽時分の氣候を呈するは聊注意を要するものあらん

▲尤一時的の現象 に外ならずとするも斯る冷氣が持續せば稻の成育上非常なる惡結果を見るに至らん況んや天候の人氣に及ぼす影響や大なりと雖ども未だ時期尚早にて稻の天候趨勢は今後に屬する者なるゝ勿論である由來鮮地に於ける秋天災の襲來は颱風の襲來は概要の關係上讀多に襲來させるも洪水又は旱害早來のの襲來は屢々あるあり然して鮮地に於て尤も恐るべきは一に早魃あるのみ本年は春以來雨不足の爲め或る方の如き漸く土用前に至り植付けをしたるも其後の早大に深りたる田畑あり其後漸く適雨を得て始めて遅れながらの顯氣響めきなりたるも未だ本年の作柄を樂觀する能はず今後


(左側廣告) 仁川海岸町 大川(?) 仲買店 電話二三八


## ●連絡船上陸客

十二日午前九時釜山入港の昌慶丸一二等客

よ、北野まさ、山中勘、南出三郎、武永しん、加納佐一、早坂しん、同ふみ、同止一、同ふく、吉安豹、同はる、谷口勘、同まさは、門多道則、光本一太郎、近藤次郎、肉田彥三、長瀨新兵衛、

同一、十七名、田揚、成順、新三郞、同正治、北川、郎、同つれ、同恕、夫、松田安次郎、原崎、川上求、北島五郎、同織次郎、兼平、山本樹、片山儀三、小倉ヨシ、

同滿津子、小村猛、田中庄市、今井三二、森田龍一、作吉松、一つ、德野まつの、同一、同稔、同さよ、浅田、沼井光敬、同任、與、新田武喜、朝川、

▲十三日午前九時四十分釜山入港の壹岐丸

元司、鈴木能太郎、今井總峰、大倉市太郎、小山と、同、吉田、... [illegible]

## 課題募集規定

△一日一題 △締切は毎週○○日 △第十四日同十五日

(課題) 募集規定 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に一題以上の記載を禁ず▲住所氏名明記の外に雅號の記入を許す▲選は一週間後▲掲載の紙面に記すべき事項一切の事情に應ず

# ●洋紙暴騰 出版界は大打撃

## 十月から雜誌四十四種の値上

—今の値では到底立ち行かぬので—

歐洲の開戰以來輸來洋紙の輸入がピタと止まつたので洋紙は引續いて暴騰する一方出版界は大打撃を被つて瀕死の狀態に陷つて居る、一昨年の暮と

■昨今とを 比較すると實に十二割高も暴騰して居て新聞紙類の物で一聯二圓九十錢位のが今では八圓出しても品がない之は十五割高になつて居る一番困つてゐるのは二三千部位發行する雜誌社や地方の小新聞で其月々の相場で紙を仕入れるから月毎に

■高い紙を 使はねばならぬ大雜誌社や大新聞社になると製紙會社と契約するからそんな事はないが夫でも昨今は會社側が三箇月以上は契約をしないので以前の樣な安い紙を使ふ事は出來ない紙價暴騰の爲大阪では出版を

■見合した 向も澤山あるが東京にはまだないらしい併し今の値では到底立ち行かぬ然りとて引續き値上げをしては顧客に對して濟まないと云ふので東京の書籍商組合では先達組合總會を開いて協議した結果部分協定にして來る十月から

■四十四種 の雜誌が二錢乃至三錢宛値上げをする事となつた某雜誌の如きは毎月六百圓也の損をしてゐるさうで何れも紙價の暴騰に連れ印刷代製本代の高くなつたのには

■大弱りの 體である世間には成金が出てゐるがこの成金は本屋に取つては何にもならない本屋の得意は中流階級が主であるから昨年の諸物價騰貴に際して專門書籍は兎に角一般の讀物はどうしても

■買ひ澁る から本屋の方でも上梓を見合さなければならぬハメになつてゐる成金と云へば王子、富士を初め三菱、小倉、東京板紙の五製紙會社の如き今や成金の頂點に達してゐる原料騰貴とか云ふけれど其實

■製紙用品 は下つてゐる物が多く唯石炭の騰貴と船腹不足位なもので會社は儲ける一方從來八分乃至一割の配當であつた王子や富士が現今は六割の配當をしてゐる之に特別積立や別途積立等を算ふれば優に二十四五割にも上る素晴らしい景氣で製紙會社の方は

■此五社が 妥協すれば直ぐ騰貴の實行は出來るが出版業者の方は競爭者があるので値段を上げるにもビク〳〵ものである、此調子で行けば洋紙はまだ〳〵暴騰するかも知れない、隨つてそれが

■出版界に 甚大の影響を及ぼし國民の精神的食物たる書籍の新刊が減少して紙價調節の必要に迫られるやうになるかも分らぬとは何と一つ安い物無しである

# ●清新なジャムの話し

## 食欲も增せば便通も良くする

麵麭に用ひられる副食物は色々あるが何よりも適當で且つ衛生的なのはジャムでありませうジャムは清新爽快な味と美麗な色澤とを有し人の味覺及び視覺をも刺戟し食慾を促進せしむる許りではなく

◆新鮮な果物 を原料として製造した物であるから其主成分としてデキストリン、澱粉質、植食酸、麵類、チユローゼ、蛋白質、ペクチン等を含であるから營養不良な者の食料として最も適當なものです殊にオムレツケーク其他澱粉調理に使用して小兒に與へるには宜しく砂糖分及び植物酸の作用に依り病者たると將た又健康者たるとを問はず凡て便通をよくする

◆特効があり ますから麵麭の副食物には勿論一般家庭に於ける食後の食料として推奬すべきもので、す現に歐米諸國ではコンポートと稱して生菓の代りに食卓に盛んに食用されてゐると云ふ事ですジャム中の權威たる苺ジャムの外に蜜柑ジャムと云ふのがありますが

◆上品な甘味 中に稍々苦味を帶びてゐるから自然に口中を爽快にし食氣を促進せしめるので夏季の食料として最も適應はしい物である其營養價は「蜜柑が色付けば醫者が蒼くなる」と云ふ諺もある位です

# ●暴騰の聲に喜ぶ事業家

◇世界の大戰亂に依つて發達しかけた日本の工業界もこの有樣では戰後が心細い◇

吾々の日常生活に密接な交渉を有つた化學工業と機械工業とは「戰爭」なる一大彈壓をうけた事に依り飛躍すべき進歩と發達とを促した手近い例を擧げるならば吾々の着物を染色する

◆染料の如き天然藍や木の實や木の皮を應用する以外其の製造方法すら究められず全く獨逸を第一として英佛其の他の化學染料を輸入して僅かにお茶を濁して居る時に旋風の如き猛威を揮つて頭を擡げた戰爭が世界の交通を一變した爲めに需給の途は立に阻止されて仕舞つたが因襲の久しき

◆到底朝鮮人のやうに 白裝束に甘んずる譯にはゆかないそこで化學染料の拵へ方を研究し生產して供給するやうになつた藥劑とても同じ事だ如何に輸入の途が杜絕れても病人を見殺しにする事は人道上忍び得ない藥草栽培藥品製造の起る所以だ斯ういふ風に押し詰められ押へつけられ踏み躪られた結果所謂發奮を餘儀なくされたもの〳〵多い中で

◆最も異常なる進歩を遂げたものは化學工業で其產額は僅微々たるものであり作らも海水から鹽酸加里、「ケツロエン」等を精製するに至つた事も戰爭が吾々の手をとつて能々數へてくれたものである是等は單なる一二の引例に過ぎないけれど需要と供給との經濟關係に眼を光らした事業家は機や乘ず可しと爲して會社工場の創立計畫に出頭し始めたのはそれから間もない事であるが其が所謂事業熱の高調は

◆今日の經濟界をして『相場なき相場』の出現を餘儀なくすると共に有らゆる物資に對する不平衡不安定を釀成した我主要物產中生絲に次ぐ燐寸の原料たる鹽素酸加里の如き戰前迄は一擔(百十二封度)十七八圓也しものが一躍百五十圓臺に飛び上つたと聞いた一味の事業家は競ふて之が製造工場を濫設し忽ちにして五十餘を數へるに至つたが

◆一朝市價の激落を見るや大半は其製造を手控へて仕舞つた併し暴騰の聲を聞けば直ちにガラ〳〵と機械を廻して性懲りもなく再び製造に取りかゝる事が斯うした際物師で埋まつてゐる事業界に在りては製造中に於てさへ其能力を誇張して虛勢を構ふる事にのみ腐心して居るのだから茲に我邦に於て的確な產額を知る事が出來ない許りでなく市價の如きは今日を以て明日を律する事すらも至難であると當局者は語つた(東京)

# ◉大邱の豺狩り

## 憲兵分隊の大々的計畫

大邱に隣接せる達城郡内に於ては豺の被害少からず本月に入りて以來既に四名を咬まれたる有樣なるより捨て置き難しとて大邱憲兵分隊は目下毒饅頭を使用せしめ豺の驅除を奬勵し居り更に大々的豺狩りを計畫し目下之れが方法に就き研究中なるが聞くところに依れば大體に於て全團を中心に一隊は大邱より一隊は玄風より何れも最初山麓を襲ひ漸次頂上に狩り及ぼさんとせるもの〻如く期日未だ決定し居らざるも何れ近日中なるべし

## 諸の賊

■噸から石鹼 南米發動船丁共和丸にて[illegible]其の被害が夥しいので種々研究の結果[illegible]から石鹼を製造することを發明したやうな

■屋根から飛ぶ 東京府下[illegible]四五久保なる[illegible]

■僞刑事捕はる 岡山縣[illegible](二五)は七日[illegible]自殺を遂げた

■僞刑事捕はる 岡山縣[illegible]元岡山縣巡査[illegible](四七)は捕縛を[illegible]巡査に化けて[illegible]郡内の各村で犯罪搜査だと稱して詐欺を働いてゐたことが發覺して捕はれた

■片腕の詐欺師 山口縣[illegible](一四二)は長崎市で不具なる故の[illegible]製造する方法があると詐つて六百圓詐取した[illegible]たことが發覺し[illegible]男だ

■三人の血塗れ 三重縣[illegible]山勝次郎(五九)は池の畔から怨みを抱いて六日同村の木下福八(四六)木下長松(五一)を斬り倒し己れは自殺し三名池の畔で血塗となつた

■兄弟の入水 廣島縣海田市町花井一雄(二二)妹きよ(二〇)の二人は家庭の不和から手足を結び合はせて江の島に投身自殺を遂げた

■女物を着用 廣島縣三原町本[illegible]九一(二六)は流行して着して居つたさうな

■念入れの自殺 山口縣厚狹郡宇部村茂坑夫竹中初一(二二)は十日村の鐵道線路に瓦斯を以て頭部を縊りつけて轢死自殺を遂げた

■泥棒にも成金 熊本市外本庄村後藤文藏(二七)は五年間に亘り熊本市内外の富豪或は官舎等數百戸より多額の金品を窃取して別莊迄建て、泥棒成金をやつてゐる所を本月八日化けの皮を剝がれた

■生指で諫言 山口縣佐波郡[illegible]政一(二二)は七年前實母まつが情夫と共に姿を晦まし政一は布哇に渡つて稼いでゐたが此の間數通の道書を指の血で認め母を諫めた書の中には生指一本を封入してあった

●赤痢とチブス 京城公平洞二十九番地木下庄太郎(四〇)瑞麟洞四十五番地澤村宗兵衛(三七)の兩名は何れも十二日赤痢と診斷又需昌洞百七十六番地池上つね(三)は十日同樣中林洞百十九番地平本かめの(三)は十日同上旭町一丁目池上義男(二)は十二日腸窒扶斯と診斷さる龍山元町三丁目五十七番地今江秀吉(四九)は十日漢江通り十六番地廣田隆次(二〇)は十三日何れも赤痢と診斷さる

## 運動界

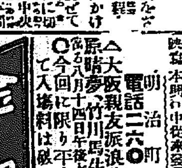
# ◇遠征庭球團より

大連英佐藝旅館にて 泉、政次郎

(前略)一行は十日午前十時江原丸に乘船、雨の爲め濡れ見るも氣の毒と思はれ候が元氣充溢そんなことには一向無頓著に候、マネージャー大出氏の外は皆晝食をドシ〳〵やる、午後四時頃より漸次波高く揺れる〳〵遂に一語を發するものもなく聞こえてゐる、何處かの隅に呻く聲あり、何處かにボーイを呼ぶ、皆さん夕食に如何ですと呼はるボーイに答へるものはない、かくて苦しい一夜は明けた、風なく波靜か、そろ〳〵元氣出で賑かになる、午後四時より六時迄チーフ上陸、市街散歩後糧食あさりをなす中には支那甘瓜をカヂリつゝ歩くものさへある赤裸々、忘れたが上陸するや直に領事を訪れたが同氏は二三日中に轉任するとかにて體よき門前拂ひ、いやそれは邪推、同領事館のボーイが市内の案内をして吳れた、歸船後夕食をウンと平げ甲板上にて道は六百八十里とか四百餘州を跳るとかさては船員まで交りての大騷ぎ、中には眞面目にラケットを振り廻はして居るものやモーションの研究をやつてゐるものも居る、十一時頃にはそれでも夫々寢に就いた大連見わたの一語にドヤ〳〵甲板上に出る時は午前三時半、それからはテニスの話で持ち切り、檢疫を終へて上陸したのは六時半、大連側でマネージャーに案内せられ宿につく、之より猛烈に練習、明午後三時より試合に決定、一行の宿泊せる旅館は早稲田選手の宿れるところに候。不一

◉裁縫學舍の發會 京城私立裁縫學舍にては十五日午前九時より目下裁縫講習の爲め滯京中なる岩谷龍子氏を招し裁縫に關する講話會を開く由

◉經王寺(新町) 十五日(盂土用うし)十六日(寅日)に付午前六時より[illegible]




▲蒲燒豆腐 豆腐を一寸と布巾に上げて程よく水氣を拘り裏漉しにかけ之に少しの饂飩粉を混ぜて擂鉢で摺り四寸角位に切り置き湯葉を四寸四角位に切り其の上に展ばし其中央に長さ四寸巾五分程に切つた淺草海苔を二本間をはなして並べ其上に前の豆腐を一分位の厚さに展しつけ右兩端を封筒の樣に折り返し其合せ目に玉子の白味を塗つてピタリと封じ俗皮を撒いた熱湯の中に並べ釜の湯の煮立つたる上にのせ二三分間むして下し胡麻の油を引いて中火にかけた玉子燒鍋に移して兩側に焦目を附け次出汁三杯醤油一杯砂糖少々を合せて一旦煮返へした汁の中へ一時間程浸し後取出して適宜に切つて皿に盛り粉山椒をふりかけて食べるのであります是れは精進料理の献物などに用ひても立派に結構です

# 演藝案内

京城壽町 電話五七八番 **壽座**
御地皆々樣の御招きにより浪路を越してはる〳〵とたゞりて[illegible]未熟の我々[illegible]一心不亂に勤めて[illegible]何卒お目にかけ[illegible]
江戸生粹いさみ會 海老一鐵五郎一座
八月十五日[illegible]
△曲藝 「天命」 一場
△舊喜劇 「砲聲」 二場
△新喜劇
△藝づくし 「三人滑稽」
入場料一七十錢二等五十錢三等廿錢四等十五錢

櫻井町 電話八七三 **大正館**
八月十日より[illegible]
○珍らしい涼しい納涼の親玉
○天下一品 出雲踊 實演餘興
▲新作[illegible]
▲活動寫眞は[illegible]

**有樂館**
○舊劇「怪猫殿」[illegible]
○新派大悲劇「想夫戀」[illegible]全六卷
○滑稽活劇「チヤプリンの駈落」全二卷
○喜劇「ニコ〳〵」「飛んだり跳ねたり」
○人情活劇「黒衣」全五卷
○活喜劇[illegible]
▲八月十日より[illegible]
○新派小林商會特作家庭劇「霜の夜」全四卷
[illegible]

電話二三六七 **黄金館**
▲十一日より特別大興行[illegible]
◉舊劇 車丹波之守 全六十卷
◉第二護る影 [illegible]
◉新派活劇 悲劇情のかげ 全六卷
[illegible]

明治町 電話二六〇 **浪花館**
△大阪親友派浪花節 竹川馬生、京山若圓三合同
原臨夢八月十四日午後七時開演
○今回に限り平素の御愛顧御禮として入場料は破天荒…金五錢均一

金銀箔諸
黄銅鈴、齒科用金箔、無地金屛風、押紙
箔鈴商
右各種製造發賣
京都市御幸町御池南入
振替貯金大阪六四四番 堀至善堂
電話上五百五十九番

◎吾國の戰亂に對する特殊地位
歐洲戰亂の結果は、我國をして未曾有の經濟的膨脹を來さしめたのみならず、太平洋方面に於ては、あらゆる優越權を獲得する事が出來た、殊に南太平洋は世界の寶庫であつて、現に歐米の列强は、この方面に於ける領土的發展に依つて、今日あるを得たと云つても差支がない、吾國にして、この機會とこの地位を利用して、一大飛躍を試みたならば、幾何ならずして、世界の富國たるは難事でない、識者は早くも爰に着目して南洋に於ける最大有利事業を創案し、熟練なる技師を派し、研究に研究を重ね、今回或る一大會社を創立の運びに至つたのは、實に國家の慶事である。
◎會社の內容は照會次第通知す
茲に社名其他に就き說明したいが、目下他に事情あつて、暫く公告するを許さない、殊に該社の發起人等は、我國經濟界に於けるあらゆる巨星を網羅したれば、申込數實に參拾貳萬株餘(資本金六百萬圓拾貳萬株に對し)に達するの盛況にて、全く公募するの必要なかりし。
◎弊店には多大の引受株あり
弊店社員は、初よりこの擧に賛し、現に發起人として活動しつゝあり、それ等の爲に特に多數株を引受けあり、されば希望の方には御分讓致すべく、既に額株以上の盛況なればこの際大至急申込あらん事を希望す
目論見書、收支豫算、定款等詳細は郵券五錢封入御照會次第送呈す
東京市日本橋區坂本町拾八番地
公債株式現物問屋
合資會社 桐生屋株式店
電話浪花(四二)一五三一・四二一四五一・五〇四八・五二一八〇・振替東京三五〇五九
電信略號(トウケイ、ヤマボツキ)着信略號(キ リ フ)又ハ(キ)

公債株式現物問屋
東京株式取引所仲買人
東京市日本橋區坂本町二番地(第一銀行前)
(ホ) 細野傳次郎商店
電話浪花 四〇九番 五〇三番 長六〇一番 長六八九番 長六九八番 五二五〇番
電信略號 (ホ)又は(ホソノ)

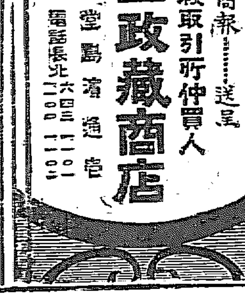
四男收儀豫て病氣之處昨夜死去候間此段謹告仕候
追而葬儀は途中葬列を廢し十五日午後正五時南山本願寺に於て執行仕候尙午後手供花放鳥等の御贈與の儀堅く御辭退申上候
八月十四日
父 三田政治郎
友人總代 中村再造 梶原末太郎 釘本藤次郎 中野勇吉 高瀬與吉 村上幸次郎 山崎鹿藏

牛皮 山羊皮 京釜線大田
皮革製造販賣
高價買入
大田皮革株式會社
電話長一三四番 電略(タヒ)

日本藥局方
ゲンチス 最新賜國
常用すれば血液を増し腕力を盛んにす
◎說明書送呈
東京本町 藥種問屋
合資會社 國城商店
日本臨海十三ヶ國專賣特許
賣揚兵粮の疾復期、營養補給の目的にて腳の疾患小兒の營養不良等に實用せらる

[illegible]

理想的耐久保険ゴム雨着
東京神田區富松町十五番地
振替東京二四七九番
◎鈴木防水布店
見本付定價表御申越次第送呈



◎社員募集(日鮮人)
希望者は各地所在事務所へ來談
明治公債株式會社
朝鮮台灣中國九州營業本部
釜山谷町一電話(三四三・七七七番)

好評 三版
勤儉堂主人述
債券利殖秘傳
▲安全確實に勤業債券の箱取買買に依り資金を年四割乃至廿割以上に運轉し得る破天荒の珍書にして又凡そ債券に關する要項は一切を網羅す特に此機會に於て有志諸君に頒つ蓋し天の發也福の神の託宣也急讀せよ
三十五錢送料不要
東京牛込新見附
振東京三一八四二 同仁社
▲各書店取次販賣

致富之栞……商報……送呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
片山政藏商店
多少に拘はらず御用命の程奉願上候
堂島濱通壹 電話長北 六四三 一〇〇 一二〇 二二〇

內科 小兒科
京城府明治町二丁目(本町江戸川横より入る) 電話二七八番
入院隨意(普通病室 特別病室)
中島醫院
院主 中島貞信

人畜無害
今迄に有ふれたる効能稀薄の物と全く違ひます
朝鮮總督府御認可
はい取散

効能 室内の空氣中に撒布せば蠅は十分間にて全死保證す尙菊野菜樹木動物の蟲毛虱京畠油蟲等に特効
使用 筒鑵を天井に上向けて右手で叩けば裹合紗を抜けて細き分子が室内に廻る時、蠅蚊の死ぬようたがい無し
全鮮一手元 京城南米倉町 藤井友造方
同賣捌事務所 京城南米倉町交番所前 安田藥局
▲募集 特約店及行商を希望の方は御照會を乞ふ
各地藥店並に小間物店にて販賣す

[illegible]本月[illegible]同[illegible]安藤晋三郎、岩田法三[illegible]たけ、同節子、小池富藏、同 [illegible] きよ、堀行[illegible]、塚本良吉、嶋見城雄、同朝子、宇田龜吉、百瀬むつみ、同元勇、同仁呂子、齋藤誠一、島崎すよ、藤本まき、中道秋三、横田午平、同と
十二日午後九時釜山入港さくら丸 一等(五名) 神[illegible]、賀田金三郎、同直治
二等客 [illegible]
[illegible]午前八時二十[illegible]分釜山[illegible]
二等客 [illegible] 國[illegible]、竹内虎治、村山[illegible]、同[illegible]一
[illegible]
(北) [illegible]安平、[illegible]泉丸、[illegible]西内宇七、廣島一、[illegible]下川ゆき、大一三郎、[illegible]
[illegible]石川市太郎、篠田乙理、[illegible]竹太郎 外[illegible]人三名

△[illegible] 同十六日 同 十七日
△保護[illegible] 同十七日 同 十八日
△川柳 圃一 同十八日 同 十九日
△物は付(引込むもの) 同十九日 同 二十日
△[illegible]とかけて 同二十日 同 廿一日
投稿は一週間以內に到達又は[illegible]
選者は五十錢書籍券を呈す
何書何號と明記に限る
日報編輯局[illegible]
▲宛名は京城[illegible]

[illegible]
京城[illegible] 八月十四日[illegible]
[illegible]

## 明君道中記

第二百三十五席　田邊南龍口演

長七郎主從が睡て居りまする枕頭へ修驗者が入つて來る、跡に續いて十四五人の若者がズラリと周圍を取卷て　修『オイ客人目を覺ましなせゑ、起なせゑ』長七郎は素より起て居たのだが今目を覺したといふ態で　長『あゝ能く睡つた、是は大勢來て何か用があるのか　修『用があるから來たのだ、能くも先刻船中で俺達を手痛い目に遇はせたな　長『オー然う云へば其方は船に乘込んで居つた修驗者であつたな、何うして此處へ　修『不思議と思ふなら云つて聞かせる、當家の主神掛鄕太夫といふ者は海賊である　長『何に海賊じや　修『船中で乘合の奴等へ痺れ藥を飮して懷中の金を卷上げやうとした時に其方の爲めに妨げられ、小舟へ乘つて脫れたが後へ廻つた親分の神掛鄕太夫、鄕士と僞はり此の家へ伴れ込んで來たのである、默つて金を出せば宜し、しのごの云へば用捨は無いぞ　長『偖ては汝等海賊であつたか我れを欺むき此の家へ伴れて來たのは汝等が運の盡る處である慾心非常の强賊共片端より斬仆して死骸の山を築てくれる　修『猶感たことを吐すな、ソレ殺してしまへ』一同の小賊共飛びかゝらんと爲したる時、次きに寢て居つた宇平次宅兵衞夜着を刎除けて立上り　宅『ヤアレ小賊共片端より斬捨くれん覺悟いたせ』と兩人が其處へ飛んで參ると小賊共は八方より斬てかゝる、三宅田村の兩人は小賊共を相手に斬結んだが、兩人共腕に覺ゑの遣ひ人ゆゑザックバラリと斬つて落し、手に立つ者はござりません、此時修驗者は强刀を拔いて長七郎目懸けて斬てかゝるをヒラリと躰を轉じた空を切つて前によろけるを、ドンと突くバッタリ仆れた、長七郎馬乘に跨つて首筋を壓へた正面の襖を開いて飛んで來たのは主神掛鄕太夫、襷を掛け鉢卷を爲し手槍を持つて長七郎へ突かゝらんと爲したる時に、三宅宅兵衞是を見て大音を揚げ　宅『ヤア神掛鄕太夫とやら、我君へ手遊びをいたすな、忝くも其處に渡らせらるゝは駿河大納言忠長公の御公達松平長七郎君に渡らせられるぞ、御召物の三ツ葵葵に心付かぬか、退り居らう』と云はれて神掛鄕太夫はハツと驚き長七郎君の召物の紋所を見て持てる槍を投捨て鉢卷襷を取捨後へ退つて兩手を控へ　鄕『扨は駿河大納言忠長公の御公達北の丸御若舘樣に御在せしか、知らぬこととは申しながら存外の失禮眞平御免下さる樣』

此時長七郎は容儀を正し宅兵衞宇平治の兩人を左右に從へ　長『其方も賤からの海賊にてはあるまじ本名あらば名乘つて聞せよ　鄕『ハヽッ恐入り奉る、名乘つて見れば君と私とは主と家來　長『何に主從とな　鄕『何を隱さん拙者の父は駿河大納言忠長公の家老職駿州田中の城主興津河內守、私事は子息隼人正と申せし者　長『偖は其方興津河內が倅の隼人であつたか　鄕『父河內守が御主君へ謀叛を勸めそれが爲に大納言殿は上州高崎にて御生害あらせられ、父河內は羽州由利へ流罪になつて其の地にて相果ましたが、父河內の死する時に拙者を招ぎ、汝父の遺志を繼いで謀叛を企て德川將軍家を討ちまらせ、我がお怨みを晴し主家再興を圖れよと申し付られました、某儀は、父相果て後謀議を廻らし謀叛の謀を企らさんと思へども心を寄せる者もなく據なく當所へ參つて海賊の首領となり船に打乘り東海南海を暴れ廻り外國船をおびやかして金子を掠め、是を軍用金の貯へといたし、又侍と見れば味方に附け承諾なければ是を殺し永年の間惡事を働き居りまするもつまる處は主家の爲、君と知らず斯くの無禮は御用捨に預りたし』と涙を流して述べました

## 星

八月十六日　舊六月廿九日　庚寅　本命四綠　閉　危　佛滅

▲四綠● [illegible] ▲五黄● [illegible] ▲六白● [illegible] ▲七赤● [illegible] ▲八白● [illegible] ▲九紫● [illegible] ▲一白● [illegible] ▲二黒● [illegible] ▲三碧● [illegible]

パンにドロップ　カステラモナカ　木村屋名物これよかろ（京城明治町　電二八七〇）


**アザそばかす　なまづホクロ入墨イボ**

等の爲め困難の人はハガキにて申込あれ皮膚を害せず最も手輕に而も其効力實に偉大なる他に類なき良劑を親切に詳報す　東京市向島小梅町　平澤藥院

**りん病**

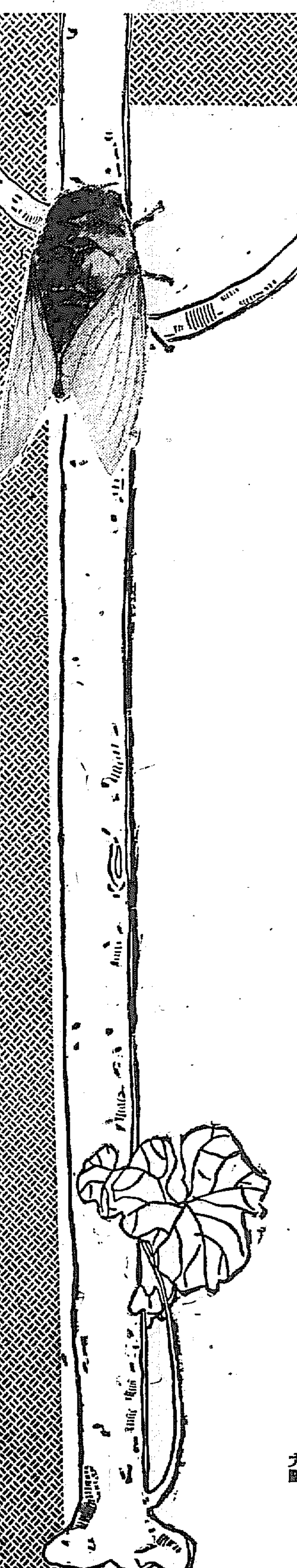
治漏を自宅で秘密になをす　家傳秘法の妙藥あり同病にて困る方只一劑を試よ切手三錢送れ人助けに其妙藥と自宅療法の詳細を救ゆ　名古屋市南かじや町　武藤龜吉

**ハーデザック**

男用一打 四拾錢　製六拾錢　[illegible]（送料要）

◉保證◉有効　麻病梅毒專門藥　京城永樂町二丁目交番北　東京トラッグ商會　本部





素晴しい勢ひで……賣れてゆく

# 白色美顔水

現今御婦人全體の要求にぴつたり適つた新化粧料

◈意外な話

例へば東京でいへば帝劇とか三越とか呉服店とか、何々婦人會とか、又各方面の集る場所へお出でになる毎に皆樣はよく、少しも飽きらしく無く極く自然にスッキリと氣持よくお化粧された方々を御覧になるでせう、而して餘程お化粧上手の方が何か一種特別の秘密なお化粧法でも應用しなければ彼あは行かぬとお考へになりませう。所が意外にも、今は彼程の化粧が如何なる方にも實に勞無く出來る時節となつて居るのです。あれは今貴夫人令嬢間に大變な人氣になつてゐる新化粧料白色美顔水でお化粧されたのであります。

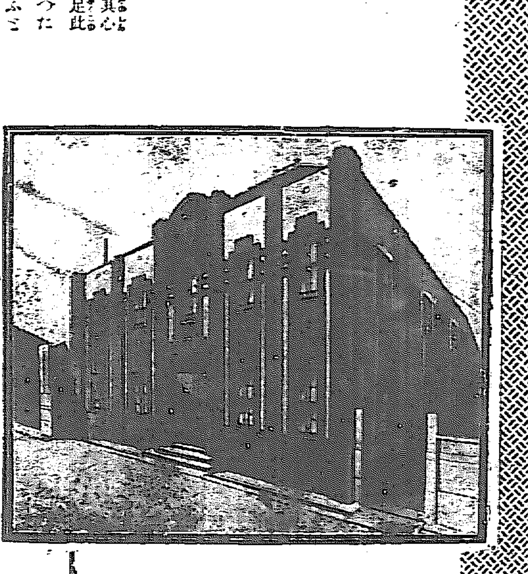
◈正直の所

一體從來の婦人方のお化粧は如何にも不自然で、白ペンキの樣に變に白かつたり、薄黑かつたり斑になつたりし勝ちのものでしたが、白色美顔水が出來てから全く其心配が失つたので、婦人方の滿足此上無く、忽ち大變な人氣になつたのですが、それは何故かと言ふと白色美顔水は普通の水と白粉とを混ぜて製へた樣なものとは根本から違つてゐるからです。此品は桃谷研究試驗所の學者の研究から發見された或る新しい美容素と、それに或る特種の作用のある白粉とを主劑にして創製したもので

◈喜ばれる點

是迄從來の日本婦人の化粧上の缺點を除いて、新しい要求を充す事の出來た化粧料であつたからです。實に見事に、實に勞なく、生れつき色が白い人其儘の色艷に附く此新化粧料、萬一未だの方は一刻も早くお試しなさい。從來顏色の工合や肌理の工合で、充分美しくお化粧できなかつた方でも、必ず御滿足なされる事を保證します

（定價　一瓶　金二十錢）



▲白色美顔水を創製したる　桃谷研究試驗所

所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇智志
仝　醫學士　米倉昌達
仝　千葉藥學士　小磯勝次郎
仝　同藥學士　齋藤銳助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　醫學博士　山本淳二氏

東京　桃谷順天館　大阪



大邱覆審法院　通譯生　山之井麟治氏著……受驗者の必備書

訂正增補　第六版出來

**鮮文普通文官應試提要**

寸珍型 五百餘頁 携帶便利 美裝紙數本　定價金七十錢　送料金六錢

■本書發行以來端なくも天下の耳目を聳動し版を重ぬる六版に及ぶ蓋し當用の諸主するに觀るも如何に本書の完全適切なるかは今更贅言を要せず是則ち數年の心血を灑ぎ完成せし結晶物たるに依る敢て偶然にあらざるは既に本書を利用せし一般讀者の首肯せらるゝ所なるべし今や更に第六版の新裝を了し面目を一新し以て諸士の活躍を期待しつゝあり乞ふ御受讀を

■發行所　大邱　王村書店
■賣捌所　京城本町　振替三〇〇　京城日報社代理部
■取次所　京城本町　電話六八四　大阪屋號　京城本町　電一一六二　巖松堂



**男の生殖器**　病陰萎遺精　早漏扶美感　少生殖器短　小包莖の人　**救濟**の爲自宅で秘密に治る博士證明の新案特許眞空療法圖入說明書密送すハガキで申込あれ　東京神田かぢ町　眞空治療研究所

鎭痛藥　**ホシコロダイン**　定價 10. 20.

▲男痛▲齒痛 ▲中暑▲眩暈 ▲食傷▲吐瀉　東京市日本橋區　星製藥株式會社　各地特約店にあり

特約店　京城府本町二丁目三五　キムラ藥房


## 汽車

京釜　南大門發　龍山發　水原發　[illegible]

（時刻表 [illegible]）

京城日報　第三版
八月十五日（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直[illegible]　印刷人 小川三之[illegible]
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社 電話 [illegible]

## 米國利權問題

京城日報

近頃巴里、北米合衆國は、露國より東支那鐵道を讓受けて、之を經營すべしといふ報道あり。其の露西亞を讓步するもの、喋々たる如くなりしも、報道其ものは信ずべからざるものなる爲めに、其議論も亦、自然消滅に歸したり。

然れども、米國政府及び國民が、大に革命後の露國に、親近するを努むると同時に、露人亦、專ら米國資本に依頼するの情あり。過般、米國特派使節の露都に赴くに際して、鑛山技師、地質學者等一行、露國內の利權の本源を、調査するの目的を以て、之に隨へる事實に徴するも、其梗概を知るを得べく、米國人より之を觀るときは、世界第一の大富國たる露西亞は、其將來の好投資地ならざるべからずして、今後米國人の露西亞に對する經營は、必ずや、並に世間の耳目を驚かすものあるべし。

尤も、過日露國筋の報道に、米國人は露西亞の鐵道、鑛山及び森林を目的物として、大投資を爲すべく北滿洲、沿海州及び北樺太に於ける利權契約、既に成れりと傳ふるものありたれども、其事餘りに誇大にして、其意義明白ならず、且、米國政府は、露西亞の共和政體の確立を助け、其立憲政治の皇張を期するといふにあらずや。立憲共和を唱道するものにして、自ら他の混雜に乘じて正當の權限なき假政府より、全國に渉る、利權契約を強要するといふが如きは、有り得べきの事にあらざるなり。最近、東支那鐵道に關する報道の如き亦同樣にて、同鐵道は支那國內の事に屬するのみならず、我日本との懸案の存するあり、是等の事情を無視して、獨り、米國人にして其鐵道の爲めに投資するが如きことは斷じてこれ有るべからず。

併しながら、吾人は、米國人が露西亞に投資し、經營するに對して、些の嫉妬の情を懐くを要せざるなり。露國の交通機關の發達及び其產業の進步は、我亞細亞に於ける諸經營と相和し、相助くること甚だ大なり。吾人は、寧ろ之を望むと、極めて切なるものありと雖も、露人の我望みに添ふ能はざるは、一に其資本足らず乃ち其企業能力を缺ぐが爲めなり。今や米國人あり、之を助け之を補はむとす、恰も是れ、吾人の望を滿たさむとするものに外ならずして、露人は、我日本人の露國內に入りて、諸般の經營を爲すことを拒まずむば、米國人をして、其國內に入りて、諸般の經營を爲さしむるを妨げざるなり。只、米國人は、由來大規模の大投資を能くするも、亞細亞に於ける事情に通ぜざる爲めに、往々にして大失錯を招くのみならず、其の最も不得意なるところなれば、歐羅巴露西亞に於ける製造工業、若くは西伯利亞鐵道の、改良の爲めに投資することは、容易なるべしと雖も、他の小規模の事業、若くは專ら特殊の智識、技能に依頼すべき仕事は、米國人の選びて取るべきところにあらず、是れ我人が米國人の對露經營に就ても、日本と相提携するの、極めて自然にして、且、極めて有機なるを說く所以なり。

## 露國の革命

### 五、革命茲に一段落

如何なる理由が存するにせよ一國の元首が危急存亡の國家を眼前に控へて退位の詔勅に自署せねばならぬとは一大悲痛事たるに相違ない。露帝其人の性格平生は如何にありとも此一大悲痛事を敢行せねばならぬことに立到つた境遇と其心事とに對しては一掬同情の涙なきを得ぬ。然し乍ら又一度露帝退位の詔勅を熟讀するに於ては迂餘曲折の痕ある譯語たる語法を以て微妙なる露帝と露國民との關係が述べられて居るのを看取することが出來る。之を直接法に依りて言ひ表はすならば今日此際露帝と露國民とを結び付くる一縷の綱は退位より外に無いといふ意味である。爰に除儀なき次第といはねばならぬ。露帝は露曆三月二日午後三時五分プスコフ驛に於て[illegible]悲痛なる退位の詔勅に自署し、皇位繼承者として皇弟ミハイル、アレクサンドロヰツチ大公を決定した。然るに同大公は四圍の事情を考查して皇位繼承を辭退するに決し、翌三日を以て下の如き令旨を發した。

現今我國家危急の場合に處し余の皇兄は余に對し露國皇帝の位を繼承すべき旨詔勅を發せられ[illegible]然れども余は國民と共に國家の幸福を計る爲め皇位繼承を辭退し[illegible]及び憲法を規定すべき全國民代表者より成る建國會議[illegible]及び元首の議定を見るまでは帝位に即かざることとし、仍つて全國民に於ても建國會議開かるゝまでは臨時政府の處置に服し協力一致各々其業に努力せんことを希望す

一九一七年三月三日露都に於て　ミハイル自署

此令旨はまた混沌たる當時の形勢が同大公をして時局收拾の見込立てしめざりしを證し得て餘りあることである。[illegible]

[illegible]命を下して下院議員の政治犯を以て[illegible]に從つてエニセイスク縣知事に[illegible]に上つた。法相ケレンスキー氏は[illegible]じく新內閣に宣誓するもの甚だ多き[illegible]及各地の取引所、及び商事會社[illegible]の閣議は新政府に於て[illegible]解放し可嘆に彼等を露都へ送還すべきを示し[illegible]集達官分の內政權は臨時政府に於て[illegible]英佛伊の各大使は臨時政府の承認を申出づるあり、ニコライ、ニコラエウヰチ大公、アレクサンドル、ミハイロウヰチ大公、ボリス、ウラヂミロウヰチ大公、セルゲイ、ミハイロウヰチ大公、オリデンブルグスキー親王、ゲオルギー、ミハイロウヰチ大公は首相リボフ公に宛て、ニコライ、ミハイロウヰチ大公、ドミトリ、ガウリル大公、イゴリ、コンスタンチノウヰチ大公は法相ケレンスキー氏に宛て各々何れも新政府に對し進んで擁護の位置に立たんことを電報を以て宣誓したのである。茲に革命は其一段落を告げたのである。露都に於ける食料飢饉問題が動機となつて[illegible]新露西亞の出現を見るに至つた[illegible]多年壓制の下に在りたる下層民が一躍自由の明けに[illegible]の放縱に投ぜられたる勢は[illegible]

●雜　錄

[illegible]

## 放浪漫記

大谷光瑞

七月三日セレベス島メナドに於て

（承前）午後零時半發し、ソロにて政府線に轉乘し、七時半スラバヤに著す。此地三井支店長阿部重兵衞氏は小生の十年來の舊知なり。久濶の情を敘し、寒暄を語り、談笑時を知らず。翌朝市街を一見し、築港に至る。市街は狹長三四哩に及び、狹隘曲巷紛雜し、殆ど大都市の面目なし。之をバタビヤに比するに、新市街は大差なしと雖も、彼はウエルトフレデンの新市街を有すれども、此は之を有せず。加ふるに住宅地と稱する區域なく、瀟洒の新築無きに非ざるも、其數甚だ少く、歐人那人等來り寄寓せんとするも、其家なきに窮せざるもの稀なり。街衢の中、又汽車を通ず。其製バタビヤに同じと雖も、是は炭を用ゐ、惡氣を作るを以て、街路臭に堪へ難し。小生の投宿せし旅舍は、フランニエ、ホテルと稱し、當地方第一流に屬すと雖も、門外汽車の奔るあり。午前五時より轟々睡眠を破り、頗る安靜を害す。之を聞るに市街はジャバ中最惡なり。然れども人口と商業とは第一にして、ジャバに於ては、實に首府を凌駕せり。蘭政府何ぞ市區の改正を施さゞるや。

築港は當地の英商フレザー、イートンの商館、テーラー氏の特に築內を經營す。工程漸く半を竣ふるに過ぎ、地は川を隔て、海亞占有區に對す。即ち現在の船舶停泊せる地域の前面なり。往昔は汨洳の地、膝を沒し近づく可からず。蘭政府之れを築くや、遠く海上より水路を浚渫しつゝ、その泥土を得て、之を塡塞せり。今漸く前面を修築し、正に內港を浚渫せり。內港は即ち往昔の汨洳の地にして、之を浚り之を塞め、以て港となさんとす。蘭人は本後に於て是種の工事に熟せり。故に之を築くや、最も利便なりとす。內港の一隅、小船舶修理所と、乾船渠二を有す。乾船渠の大なるは、一萬二千噸にして、小は四千噸なり。小生の見し時、船舶相つながら之に就けり。モートル艇に乘じ、船渠の傍を發し、內港より外港に之を轉じて、河中に入り、稅關の前より上陸して、歸途に就けり。當港はジャバ本島とマヅラ島の海峽に當り、水深しと雖も、この左右は水深頗る淺く、大船の來往を許さず。故に北口を浚渫し漸く三十二尺の狹隘なる水路を作れり。築港の水深も、亦外港前面の三十二尺とす。幸ひに海峽に當るを以て、風浪を避けて、タンジョン、プリオの如く半角を出すの要なし。

## 誰

布施生譯　(67)

突入された二人が這入つて來て保部氏と向合つた有樣は實に天下の奇觀であつた。保部氏は憤怒で赤くなり鈴富は堪へきれぬ怨の思で蒼くなつた。其中を老人は平氣な顏でしかも油斷なく氣を配つてゐる。そして暫時樣子を見合せたが觀念つたまゝ二人は容易に言も出ない。形勢甚だ危しと見た老人は透さず『これは保部樣、鈴富が放免になりました事は定めし最早お聞取り下されたでございましやうな。』『左樣、確か證據不充分で放免になつたとか聞きました。』

證據不充分といふ語に殊更力を入れて言ふのは何だか當付がましく聞ゆる、老人は平氣な顏でそれを引取り『はい、仰の通り證據不充分か不起訴と云ふのでございます、それでは何分まだ充分潔白が立ちませんので、當分餘儀なきに米國へ參りましやうかと考へて居ります處でございます。』『はゝあ、當分外國漫遊ですか、はゝあ、是矣。』如何にも痛關る語氣なのも老人は氣にもとめず『左樣でございます、まあこれがお本人の爲に一番よいかと存じましたので、處で愈々漫遊に出かけます前に一度貴方樣にお目に懸つて、從前のお禮を申上げさせたいと存じましては』。保部氏は苦笑して『いやそんな事をなさるには及ばなかつたのに鈴富も云ふ事は無からうし、私も聽く事は無い。』[illegible]鈴富と保部銀行との關係は之で切れた[illegible]長居は無用。二人は暇を告げて街へ出た。

『御老人、御前の通り保部樣に[illegible]したよ、貴方は御本望でもあらうが私はつまらない。[illegible]嫌な思をして何の役にも立たなかつた。』[illegible]貴君には[illegible]私はお蔭で目的を達しましたよ、[illegible]の一件とは何の關係もないね。』『一體なあんな事をするんでゝ無いでしやうた。』『事暴をするなんてそれは程度問題ぢや。』なあに、私はあの老人が或る疑惑に[illegible]くかと試つて試してみたかつたんぢや、みると思つた通りぢや。』二人は話しながら或街角まで來て今や曲らうとする途端に、勢力から帽子も冠らず驚愕に驅けてきた男がある。鈴富は早くもそれが壁尾である事に氣がついたが壁尾は夢中でそうとも知らず此方からの二人と殆んど鉢合せをしないばかりに近くなつて不圖顏を見合はせると鈴富の方には眼もくれず矢庭に老人に向ひ『出ましたよ、二人は。』『や。』と流石の老人も不意を打たれて『何時頃。』『三十分ばかりになりましやうか。』『しまつた、大急ぎだ。』老人は何時の間にか書いて握つてゐた手紙を壁尾に渡して『おい君、之をあれに渡してくれ、そして君は大急ぎで歸るがいゝ、帽子も冠らずに走つてゐるのは餘り良い圖ぢやないからのう。』鈴富はもう惡く驚いてしまつた『貴方は壁尾を御存知ですか。』急しく聞くと老人は例の底知れぬ調子に歸つて『まゝ、知つてゐると見ゐますのう、しかしそんな事はどうでも良い、今の場合それを檢べてゐる暇はないのぢや、さあ急いだ〱。』『何處へ。』『何處でも良い、さあ驅けるんだ。』老人は大急ぎで走り出す、鈴富も面喰つて懸命に驅けた。

▲反動伸悩む　[illegible]前日來下げ[illegible]の成行を呈し居れり

▲保合底強し　大阪の好調を受けて十九圓三十五錢[illegible]は別段[illegible]

▲仁川現物界　地場玄米十八圓八十錢 十九圓十五錢[illegible]

十四日の十月限
後場
止　寄　付
十九圓三十錢　十九圓三十一錢

賣買取組高
八月限　一萬四千三百石
九月限　二萬五千五百石
十月限　三萬九千二百石

[illegible]頻年校內市川教師の机上にありたる書留郵便を開封し在中額面四十九圓の爲替證書を窃取し[illegible]生徒の時


# 奉天新聞

（年中無休刊）

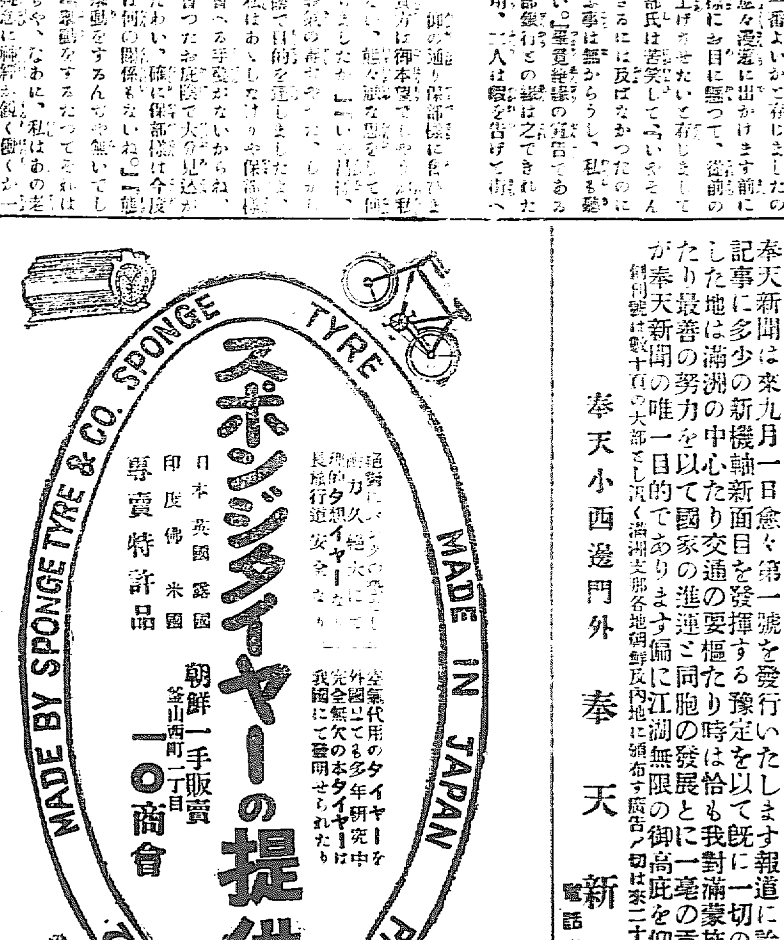
來九月一日初號發刊

奉天新聞は來九月一日愈々第一號を發行いたします報道に論評に趣味ある記事に多少の新機軸新面目を發揮する豫定を以て既に一切の準備を整えました地は滿洲の中心たり交通の要樞たり時は恰も我對滿蒙施設一新の好季たり最善の努力を以て國家の進運と同胞の發展とに一毫の貢献を期するのが奉天新聞の唯一目的であります偏に江湖無限の御高庇を仰ぎます

創刊號は數十頁の大部とし汎く滿洲支那各地朝鮮及內地に頒布す廣告〆切は來二十五日に有之候

奉天小西邊門外　奉天新聞社　電話奉天二八五番

定價一部金二錢　一個月前金五十錢　郵送料十五錢　廣告料五號十六字詰一行五十錢　特別廣告右倍額




最新刊

# 俗語大辭典

日用の俗語から和漢の文語を引出す便利な新辭典

文學博士 芳賀矢一先生序　堀籠美善先生編

本書は俗語の意義を解し併せて手紙を書く時又は文章を作る時必要な語を俗語で引いて容易に和漢の美辭麗句を求められるやうに編纂したもので其の上口語の句これを譯した普通文の句を擧げて文語の用法を示したのは未だ他の幾多の辭典に類のないことで全く編者獨特の創意である

學生　練句作文の最良師友たるべく日夕復習豫習の益友となし得べし
商人　往復文を綴る好參考となり諸種の案文を草する良資料を得べし
官吏　明瞭的確なる文辭を採りて執務上語句の錯誤支障なきを得べし
教官　教授上語句の說明の資に供し俗語及俚言の疑團を氷解し得べし
軍人　書簡文を認むる際の良手引となり日用辭典以上の便利を得べし
文士　自在に詞藻を求め得べく以て容易に錦心繡腸の美辭を得べし
家庭　日用文字の用法を知ると共に自由に活用する文語を求め得べし

全一冊　定價二圓五十錢　特價一圓八十錢　郵稅金十八錢

帝國書道研究會編

楷書 隸書 篆書

# 草書新字典

日用文字 草書道の字鑑この一卷に集まる!!!

（最新刊）本書和漢名家の草書を索引に依りて自由に引出す編纂法にして筆者多方面に亘り其の出典を擧げ加ふるに頭書に各文字の楷書隸書及篆書を掲げ尚ほ卷末に假名字彙を附したる等斬新にして親切至便なること本書を措きて他に覓め得べからざる最新刊書なり

全一冊　定價一圓五十錢　特價一圓二十錢　郵稅金十二錢

發兌　東京日本橋區通油町　東京市京橋區南傳馬町　集文館　大阪屋號

# ◎支那宣戰布告

支那政府は十四日午前十時獨墺兩國に對し宣戰を布告せる旨林公使より公電ありたり(東京電報)

## ◎國防委員會組織

北京政府は國防委員會を組織し、陸海軍及び參謀部の高級軍人を委員に任命したるが宣戰後は國防總督を設け段祺瑞氏自ら其の任に就くべしと(北京特電)

## ◎在支抑留船舶分配か

支那抑留中の獨墺船舶は沒收の上日、英、米三國に分配すべく協議中なり(北京特電)

## ◎露國境封鎖無期延期

露國の國境封鎖は八月五日迄の豫定なりしも此の際暫く無期延期することに決定し近く公布を見るべし(露都電報)

## ◎勞働委員列席不許可

ボナーロー氏は英國下院に於て英國勞働黨委員のストックホルム會議に列席するを許さずと言明したり(倫敦電報)

## ◎朝鮮兵器工廠準備

議會の協贊を經たる新設朝鮮兵器工廠は東京砲兵工廠に默協し所長には陸軍砲兵中佐近藤兵三郎氏補せらるべく目下砲兵工廠牛時編成改正の御裁可を奏請中なれば遠からず發令あるべく又建築工事も全部の準備整ひ次第所長以下所員の任命と共に起工せらるゝに至るべし(東京特電)

## ◎化工博覽會

審査總長並に委員任命

十四日左の如く任命ありたり(東京特電)

正二位勳二等 平山成信
工學博士 阪田貞一
化學工藝博覽會審査總長を囑託す
工學博士 高松豐吉
化學工藝博覽會委員を命す(各通)

## ◎朱家寶氏著神

前直隸省長朱家寶氏は十四日神戸著、東亞ホテルに入れり因に氏は東上せずと稱し居れり(大阪特電)

## ◎林野整理調査開始期

總督府にては總經費百三十五萬圓を以て本年度以降六箇年間に亙り林野整理調査を遂行す可く之を追加豫算に計上す決確定を見たるは本紙既記の通りなるが同調査に關する諸規程は目下當局に於て立案審議中とて詳細を知るに由なきも多分總督府は之を道廳に命じ道は更に面の測量手をして道に配置されたる技手及び技術員の監督下に施行せしむることゝなる可く、而して其の施行期如何といふに本案は素より制令案なるを以て成案の上は之を中央政府に廻付し更に法制局の審議を經て御裁可を仰がざる可からざれば愈々發布を見るまでには今後何ほ多少の日子を要す可きが當局に於ては面制實施と相俟つて十月初旬より開始の運を得むことを希望せるもの、如く昨今諸般の準備を急ぎ居れり

## ◎米作と天候

昨今の天候が米作に與ふる影響に就き當局者の談を聞くに本年は挿秧期遲れの地方多く爲めに一時は若干の減收を免れざる可き處なきにあらざりしが其の後に於て近年稀なる暑氣繼續せる爲め優に挿秧遲れの缺陷を恢復せしのみならず土地乾燥して農家漸く雨を思へる折柄過般の降雨あり個所に依りては豪雨出水の被害を蒙りたる地なきにあらざる模樣なるもそは極めて一小部にて全體より見る時は甚だ喜雨と謂ふ可く雨後の天候順を得ば本年の米作は平年以上たること疑ひなしと

## ◎夏期漁業不況

六月一日より全羅南北忠淸南道沿海方面に出漁中なりし總督府鱘漁撈試驗船は中途試驗を打ち切り此の程歸航せり、試驗員の談に依れば本年は初期に際し氣壓の位置例年と異り南風少くして水温低かりし爲め鯖のみならず夏期一般魚類は概して廻游遲延し又た六月下旬以降七月上旬に亙れる降雨は折角廻游せし魚族を沖合に散亂せしめたる等の結果鯖漁の如きは六月中には相當漁獲を見たるも七月以後は頗る不漁に陷れり仁川方面も亦た之と同樣の結果を來し年六七千圓の水揚ありしも本年は漸く一千圓内外に止まれる狀況にて本年の夏期漁業は一般に不況を免れざりしと

## ◎昨年滿洲貿易

南北滿洲に於ける大正五年中の貿易[illegible]

滿洲里、愛琿、三姓、哈爾賓に於て五千六百五十四萬六千六百四十四兩な[illegible]

▲南滿貿易狀況 今之を南北[illegible]五千六十一兩外國品の輸入高六千[illegible]四百三十萬千五百九十八兩なるが[illegible]品三千五百九十五萬四千七百四十二兩、支那土貨九百十一萬三千八百一[illegible]千九百九十六兩、計一千七百三十八萬一千六百六十六兩、輸出[illegible]萬千四百[illegible]百六十萬九千九百六十五兩を示せり

▲大東溝の衰運 大東溝の如[illegible]品は大豆玉蜀黍を重なるものとし其關稅收入は僅かに六百七十八兩にして之を安東の同年關稅收入七十四萬[illegible]

[illegible]は十四日朝郵船山東丸にて門司に著したり(門司特電)

## 觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○明治二十四五年の交は、逗子櫻山邊田越川一帶は、蘆葦叢生、何となく人をして水滸傳中の景を、聯想せしむるものありき。春初には野蜆の群、水仙花は、蒲公英、紫雲英と相映じて咲き、夏より秋にかけては、山百合、濱撫子、月見草の類、叢に、渚濱に、隨處に此れなきはなし。天然自然の花園、固より園丁の手を勞するを俟たざりし也。

○今や野生の水仙花の咲ける邊は、人家となり、濱撫子、月見草の、我物顔に繁殖したる渚濱の砂地は、壁墻に閉され、僅かに山百合のみは、何ほ其の名殘を存するも、それさへ鐵條網の中に圍れ、容易に手折る可くもあらず。此の如くして逗子、櫻山一帶に於ける天成の花園は、何時の間にやら、消え失せつゝある也。

○斯く云へばとて、必らずしも昔を懷うて、今を慨く繰言と做す勿れ。天然の征伏せられたる半面には、亦た人間に取りて、若干の得分なきにあらず。斯る經過は、單に此地のみの事にあらず。例せば今日よりして、板橋に鵺を獵し、目黑に鹿を狩りたる、三代將軍の當時を回顧せば、思ひ半ばに過ぐるものあらむ。但だ餘り手短き時日の際に、其の變遷の非常なるが爲めに、特に吾人の如き逗子櫻山の草分け連中には、今昔の感を做すを禁ずる能はざるのみ。而して今や田越川畔の六代御前の墳さへも、已に現代式化せんとしつゝあるを奈何。

▲大豆は産地の出廻り略な一掃され目下僅に濟江上流物の廻著あるに過ぎず如かも內地に於て夏季豆腐原料として相當需要あるを以て相場は割合に手堅きもの、如し

▲棉糸布は需要閑散の季節なるに拘はらず大阪三品市場の暴騰は延いて京城方面より母國へ逆移出するの趨勢を現出するに至りたるを以て當業者間の思惑的取引相當活況を呈し此の方面の資金の需要尠なからざりし外

▲蠶繭は近時出盛り節として之れに對する買出資金も相當の移動を見たる等例年金融閑散を常とするに不拘同業者間の遊金も尠なくして稍々小繁裡に當月を終れり

## ◎露國軍靴引受

朝鮮皮革にて七萬足

今回露國より日本の當業者に對し軍用長靴七十萬足の大註文をなし來りしが其內の一割乃ち七萬足は永登浦の朝鮮皮革會社にて引受くる事となり既に同社にては作成に著手したり

## ◎盛夏の京城商況

金融界は小繁

七月中に於ける京城商況に付鮮銀營業課調査を聞くに

▲定期米相場 は土用順氣を材料とし高値より二百丁餘の下落を見たるも正米は依然一割在荷薄のため引續き底強き傾向を辿りつゝあり

## ◎國庫證券の發行に就て

臨時國庫證券一億圓の發行に就ては今朝鮮銀行に就き其の詳細を聞くに條件左の如し

一總額 一億圓
但右の內七千萬圓は九月二十五日期限到來の大藏省證券の借換に充つ
一期限 三箇年
一利率 年五分
一利拂期 毎年二回(三月一日九月一日)
一初期利子 日割計算
一發行價格 額面百圓に付九十八圓
一申込開始 八月十八日
一申込締切 同二十二日
但期日前と雖も申額の總額に達したる場合には何時にても締切ることあるべし
一募入決定 八月二十四日
一申込證據金 額面百圓に付五圓
一拂込期日
第一回 八月二十四日 證據金を以て振換
第二回 八月二十八日 二十圓
第三回 九月十一日 七十三圓
一假證券を發行せず拂込金領收證と本證券と引換ゆること
一九月二十五日期限到來の大藏省證券の乘換を勸誘するため同證券は額面を以て拂込に代用することを得せしむ
一同證券を以て拂込を爲したる者には各回拂込額に對する其期日より九月二十五日に至る間の利子に相當する特別利益を附與せらるゝものなり(特別利益は百圓に付金二十七錢九厘となる)
一申込の際朝鮮國大藏省證券を提供する者は證據金を納付するを要せず
一同國大藏省證券を以て乘換應募するものにして申込の際同證券を提供せざるときは規定の申込證據金を納付せしめ第二回拂込期日には必ず同證券を提供せしむべし若し之を怠るときは證據金を沒收し其申込を無效とす

## 條件有利

好個の放資物

臨時國庫證券一億圓公募は前記の如き條件にて八月十八日より二十二日迄引受銀行團にて申込みを受くる事となりしが

▲朝鮮銀行 は其の引受銀行の一として本支店を通じ其の取扱をなすべし聞く所によれば右一億圓の內七千萬圓は露國政府が日本に於て發行せる大藏省證券の償還期九月二十五日に到來するに付政府に於て肩替りするもの又殘餘の三千萬圓は今夏の特別議會を通過せし朝鮮事業公債一千二百萬圓並に鐵道債券等に充當するもの、由にて朝鮮には因緣淺からざる證券とも云ひ得べし而して其の利廻りは年利五分發行高百圓に付九十八圓なれば乃ち五分六厘六毛に相當し之れを既に公募したる英國及び佛國債券の年六分なりしに比すれば若干有利ならざる觀あるも

▲日本政府發行 の國庫證券としては近年五分以上にて公募せし事なければ此點に於て頗る有利と稱するを得べく現に朝鮮銀行の預金利子は年五分地方銀行にても五分五厘なれば朝鮮にて銀行に預金を有せる資本家は其の期限の三ケ年なる點より見るも好個の放資物なるべしと云ふ尚ほ國庫證券を一時に一億圓も發行せし事は前例なく又斯の如き多額を吾がシンヂケート銀行にて引受け得るに至りしは本邦產業界發展の事實上に於ける表徵と云ひ得べきが翻つて一般民間の應募如何と觀るに戰爭以來資金の市場に充實せる額は少なからざれども其れは多く事業資金として資本に化し居れるため當局に於ても若干

▲應募力 に付懸念し居る如き說あるも事實は恐らく悲觀を要せざるべきか因に鮮銀にては右證券公募に付銀行團並に有力者に對し相當の勸誘斡旋をなす模樣なり

## ◎貨物保管料引上

東淸鐵道哈爾賓驛に於ける停滯貨物多數の爲め八月十五日以降同驛に於ける貨物保管料を規定の五倍に引上ぐべしと

## ◎朝郵運賃改正

朝鮮郵船會社仁川芝罘線旅客貨物運賃中更に一部を改正し近日中より實施することゝなりたるが改正運賃左の如し

▲仁川芝罘間一等十五圓三等五圓▲仁川大連間一等十六圓二等十二圓

## ◎阿波汽船運賃改正

本月十五日より阿波國共同汽船會社仁川芝罘線客荷物運賃左の如く改正實施すべしと

一、旅客 ▲仁川芝罘間一等十五圓二等十圓三等五圓四等三圓▲仁川大連間一等十六圓二等十二圓三等六圓四等三圓五十錢

二、荷物(仁川より芝罘大連に至る運賃) ▲穀物一才七十錢▲原價取一才三十錢以上百擔につき八十錢▲[illegible]一才につき十八錢

## □お話にならぬ鮮露貿易

貿易港としての浦鹽

◇浦鹽に陸揚げされる軍需品は此のごろ米國製品が主となり日本品はずつと減つた昨年一昨年に比し三分の一にも足らぬ有樣であるこれは詰り日本に資金がなくて米國のやうに氣永の延取引に堪へられぬからであらう

◇これに反し米國はルート氏のお土産はもとより西比利亞の鑛業權を掌握したかの噂がある!後貝加爾の金鑛、ウラルの寶石鑛なども大いよ甘い汁を吸ふ計畫だと噂されてゐる

◇それに西比利亞鐵道の經營も米國の後援によるとかよらぬとかの噂もあるが現に先般米國の技師連が多數出かけた事實によれば近く米人の手により改善されるだらう、これは米國式にやつた方が輸送も捗々しく進むかも知れぬ、併し滿洲里長春を米國が讓り受ける如きは巷間の風說に過ぎなかつたらしい、これは左もあるべき事だが大膽に於て米國の暗中飛躍は猛烈らしく思はれる

◇浦鹽もあまり商賣の利く場所ではない、此處からニコライウエスクやハバロフカや、カムチヤツカ方面に貨物を仕向けるとするもそれは到底不可能なことで到底通過貿易地たるの資格はない、それに輸出品も主に北滿の農產物が出る位ゐでその代金は哈爾賓に送られるばかり、浦鹽の商人には大した影響はないのである

◇世間よく鮮露貿易を說くが朝鮮から仕向ける物資に何があるか、曰く米と生牛と指へられるがさて米は露人の常食にはならぬ、唯だスウプの中に入れられる位のもの生牛は又山東や蒙古產のものに壓されておはなしにならぬ、それに肉も硬く骨も大きく到底蒙古產の放牧牛の敵でないので、何れも見込みはないといつてよい(最近歸客談)

## ◎京城組合會議期

京城學校組合會にては十五日より大正五年度に於ける出納調査を開始すべきが調査終了次第組合會議を開催し五年度決算承認の件を附議すべし會期は未定なるも多分本月二十四五日頃なるべし

## ◎牧野博士講演

東洋協會京城支部主催の牧野法學博士講演會は既記の如く十五六の兩日午後四時より南山町高等女學校講堂に於て開催す一般の參聽隨意なりと

## ◎宮尾長官出發

赴任の途次入京せし宮尾關東都督府民政長官は十四日午後九時四十分發赴任の途に就きたり

## ◎東淸庶務課長

東淸鐵道庶務課長ギンツョー氏は十五日夜入港の關釜連絡船より釜山に上陸同夜十時三十分發滿鮮直通列車にて北行すべし(釜山)

## ◎志賀重昂氏招待會

夏季講演の爲め元山に滯在中なりし志賀重昂氏は十五日午後入京に付き同日午後五時より早稻田大學校友及札幌農學校出身の有志者等は同氏をファミリーホテルに招待晩餐會開催の筈出席希望者は總務總監部亥角仲藏氏宛申込まるべしと

## ◎釜山一銀支店長更迭

第一銀行釜山支店長河野正次郎氏は今回東京本店詰に轉任し後任者は本店詰たりし佐野遜雄氏就任の事に決し佐野氏は十四日來著したるを以て十五日午後七時より釜山官民の重なる人々を招待し兩氏の披露宴を開催すべしと(釜山)

## 人事消息

▲秋山陸軍大將(軍事參議官) 十五日午前八時四十二分龍山驛出發赴任
▲白水陸軍中將(下關要塞司令官) 同上
▲松井中佐(山形步兵聯隊附) 十五日午前八時四十二分龍山驛發赴任の由夕刊に掲載せしも氏は同日午後八時出發赴任すべし
▲宮岡海軍少佐 十四日夜退京釜山へ

## 南言北語

今日の獨逸は恰も不正工事の建築物に似て居る▲外見上は永久に堅固らしく見ゆるが其基礎は既に崩壞の兆を萌して居るとは適評▲獨逸が最早窮し切つて居る事は何人も既に から推察して居る處だ▲元來武器彈藥はまだ需要に應ずる丈け出來るとしても人間は何うなさる▲まさか赤ん坊やヨボ〳〵の隱居さんが鐵砲擔いで戰場に出る譯にも行くまい▲限りある戰爭從事の人間で限りない戰爭をする事は駄目▲血し其處をやると云ふのが或は獨逸たる處かも知れぬ▲イヤ獨逸でも其れ位ゐの事は知つて居るのだろう此の頭腦算のない戰爭は氣狂にさせる事にしたらしい▲ステッチンのネッケンミユーレルと云ふ大きな瘋狂院の年報を見ると▲『當院の收容患者が祖國の爲に戈を執りて起つに至れるは深く本院の誇りとする處なり』とある▲狂人を戰線に立たしめて誇る瘋狂院長も大分血迷つてゐるがいくら人間が不足だからとて狂人までも驅り出すのは本氣の沙汰ぢやない▲それこそ愈本物の狂人に刃物だ▲處が狂人丈けあつて軍服を著せても命令は行はれず自由勝手に脫營はやる軍紀も何もあつたものでなく散々の體たらく▲罰して見ても根が狂人だから仕樣がないので大分閉口して居るとの事▲イヤ夫れよりも狂人さへ戰つて塹壕を奪つたの奪はれたのと騷ぐ聯合軍こそ詰らぬ譯だ▲一葉未だ落ちざるも朝夕は既に秋の氣分になつた▲自然は爭はれぬものだ歐洲戰場へも此の秋風が吹くと何とか纛も廻り相なテ

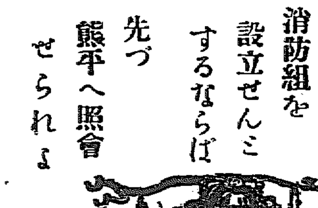

## 生徒募集

中央工學校

電氣科・機械科・建築科・土木科
二期教科書全部給與
●尋常小學卒業第一期に中學三年程度
●中學卒業第三期に試驗入學許可
●新學期毎年九月八日
●出願十月の始業中
●規則入用郵券貳錢
東京市神田區仲猿樂町五

## 全鮮消防組御用

消防組を設立せんとするならば先づ熊平へ照會せられよ



竹內金庫、消防具、文具家具
京城本町
熊平支店
電話二四六番 振替京城二二番

## 地方外交員至急募集

●月收百圓以上確實
規定書入用の方は返信料三錢封入申込まるべし
東京市神田區猿樂町一丁目二番地 アンビル製藥所

## ◆賣價改正謹告

多大ノ御愛用ヲ蒙リ居候

日ノ出向島印學生帽子 非原料其他

豫テ騰貴致居候處今日迄其苦痛ヲ忍ビ販賣罷在候モ尚引續キ格外ナル暴騰ノ爲已ムヲ得ズ賣價改正仕候何卒右樣事情御賢察ノ上不相變御買上ゲ賜リ度此段謹告仕候。

日ノ出向島印學生帽子
改正値段 一個付
A號 一圓五十錢
B號 一圓十錢
C號 八十五錢
東京 吉安商店

## 玩具卸商

薄利多賣出荷迅速は弊店の特色

京城本町一丁目
織田東洋館
電話二六九八番 振替京城二五六七番

比較は最良の撰擇法なり!!

サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話八四一 四四五 九四 番
振替京城五七番

京城西小門町二一番地(菅醫院跡)

## 田中丸病院

院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番

【入院隨意】
普通病室隔離病室の設備あり

……即ち大連、牛莊、安東、琿春、龍井村、大東溝にかて一億六千百五……六千六百四十四兩、北滿洲五港即ち綏芬河……億五百三十九萬九千三百八十七兩にして差引六百八十萬四千五百十四兩の輸出超過なりとす……兩北滿洲の其れは三千四百三十八萬……三千九百十六兩にして南滿洲の輸入は支那土貨の移入高八百九十三萬……七萬三千十八兩にして其中輸出入高の最も多き大連は輸移入に於て外國……百十兩、支那土貨の移入高二百八十……外國品輸入高九百二十萬九千六百七……十兩、支那土貨移入高八百十七萬一……高百六十二萬六千三百六十五兩、支那土貨移入……一千十三萬三千九百一兩、輸出高……七千五百三十六兩……額は僅かに三萬三千兩にして重なる輸入品は大連より來る米國石油及び……東より來る砂糖支那紙にして輸出……

◎御慰問使歸著 支那駐屯軍に天皇……の差遣……御慰問の爲め渡支中の永田侍從武官……

# ◎變化して行く金剛山の奇勝

◇此の種の風景を世界に求むれば米國カルホルニヤ州ヨセミットに比すべし

東北帝國大學農科大學教授 小出房吉氏談

妙心寺委員長……東北帝國大學農科大學教授林學博士小出房吉氏は滿洲出張の途次金剛山の探勝を爲し十三日妙心寺滯在中往訪の記者に語つて曰く

鐵道の安藤又三郎氏其他の人々から勸められて僅かに金剛山の探勝を思ひ立つた處折りよく元山行の途中から志賀重昂氏と一緒に成つて同氏と相連れ立ちて三日間ばかり外金剛及び海金剛の探勝を爲し志賀氏とは元山で別れて來た

◎金剛が天下の絕勝

であると云ふやうな事も久しい以前から聞いて居たが天下の絕勝とは何を標準にして云つたのだか全然見當が付かぬしかしたしかに雄大莊嚴の景である事は誰しも肯定する處である金剛山は太古層の花崗岩火山岩玄武岩等より成り其の組織脆弱なる部分が風水に侵蝕せられて奇異なる山貌を形成したものである金剛山中に於ける岩石の侵蝕作用は今日に於ても斷えず行はれて居るから金剛の奇勝は今日の通りに永久變化せぬものでない否大いに變化しつゝあると思はれる金剛山中の植物は溫帶植物としては五葉松、赤松、寒帶植物としては扁柏が繁茂して居る金剛山の森林は處女林であつて斧鉞の入つた痕跡は全く見ないが其の割合に樹木の何れも矮少なるは不思議であるこれは多分熔岩間に生じ又は地附が樹木の成長に適して居らぬからであらうと思はれる金剛山の風景は前に述べた通り雄大魁偉である其の特徵は

◎何處までも男性的

である愛すべき風景ではなくして絕大なる自然の力を目の前に髣髴すべき地である吾等る其の絕勝と稱すべき處は人をして皮膚に粟を生じ頭髮を堅立せしめて恐怖せしめるだけの威力を持つて居る從來日本人の所謂風景と稱したものは山水明媚風光秀麗といふ風の女性的のものであつた昨年も或る婦人雜誌で從來の日本三景は餘りに規模が小さいから發展した日本に相應した新日本三景を廣く讀者間に募つたが其の中に金剛山の名も見はれたが選定の結果は第一三保の松原から富士にかけた景色、第二は耶馬溪、第三は北海道大沼公園であつたが金剛山の景は三保の松原や大沼公園などのなだらかな女性的の風景とは全然其の趣を異にして居るから素より比較する事は能きない

◎金剛山中には何百

耶馬溪の景色は金剛山と類を同じくして居るが耶馬溪の如き溪谷のものはあるか知れぬ程ある此の種の風景を世界に求むれば米國カルホルニヤ州ヨセミットの風景を以て比すべくヨセミットは其の面積の廣きに於て岩峰の高さに於て遙かに金剛山を凌駕して居るスイスのアルペン連山の景の如き其の雄に於て世界に其の比を見ざると又其の類は金剛山とは異つて居るから比較上下する事は能きないたゞ金剛は東洋に於ては如何なる方面から見ても第一の絕勝と稱することを得る事は萬人の首肯する處であるたゞ目下道路の便惡しく探勝客は何れも半分以上の興を道路の爲めに傷損して終ふのである鐵道等にても金剛山を世界一などゝ誇稱する際で道路を修築して探勝の便を圖つたならば徒らの誇張よりも金剛山を世界に紹介する上に效果が尠くあるまいと思ふ

◎綠陰……東大門外より遙に南山を望む……

## ◎鹿兒島本線 十七日より復舊

鹿兒島線有佐驛附近水害の爲め列車不通なりしが十四日朝より徒歩連絡にて交通を開始し十七日より全線の復舊工事完成して全通するに至るべし(門司特電)

## ◎三萬圓を借入 前科發覺 放蕩者の末路

京城王川洞百一番地李謙宰(二三)は放蕩の末財産を蕩盡し實父李根燮を困らせること尠からざりしが大正五年舊十一月中曾つて面識ある松峴洞二十八番地李種瑞(四二)に對し金一千圓の借入周旋方を依賴したるも

▲抵當物 なきより拒絕されたるが其の後金明濟なる者が稷買收の爲め入京中なるを聞知し謙宰は稷數百石を所持し居るものゝ如く裝ひ兩名共謀の上明濟に對し稷の買賣名義に八百五十五圓を詐取し其の後三名共謀して同年十二月二十一日黃金町三丁目李某に謙宰が反物

▲數百反 あるものゝ如く假裝し同樣手段を以て六百五十七圓を騙取し尙外一名より四百九十圓を詐取したる後本年舊四月三十日謙宰は實父名義なる二十九萬五千餘坪の土地臺帳の謄本を受け印章を僞造し文券を僞作し此の

▲土地を 抵當としたるものにて茶屋町の金貸業某より三萬圓を借り入れんとする際罪科悉く發覺して三名は鍾路警察署に檢擧されたり

## ◎死んだ人間が 棺桶から

須磨の路上にて長崎市生れ山崎セン(四五)なる者卒倒し絕命せしを以て棺桶の中へ入れしに間もなく蘇生せり(大阪特電)

## ◎料理屋で二千圓 强奪せし賊逮捕

咸南北青郡德城面東庄內里當時元山府山本町鶴商店に賣却したる古鐵材の代金の內二千圓を受取り八月三日午後四時頃元山榮町赤田樓の支那料理屋にて酒色中三名の强盜闖入し來り俄かに高を捕へ兩手を縛し手拭にて目口を塞ぎ件の二千圓を强奪して逃走せり急報に接し元山警察署にては非常手配の上共犯の賊四名を逮捕せしが尙連累者ある模樣にて嚴探中

## ◎討伐隊勝つ 馬賊頭目斃る

撫順縣內に顯はれたる馬賊頭目双龍以下七十名は本溪湖より東北七十支里の山林中に於て奉天及び撫順の討伐隊と銃火を交へ居る旨去る六日報告あり本溪湖支那官憲は撫順よりの要求により同地保衞團々長以下三十二名を派遣せしめたり六日本溪湖東北八十支里撫順縣部落附近に於て馬賊の頭目双龍の率ゆる馬賊四十名に出會し互に銃火を交ゆること約四時間にして賊は頭目双龍以下八名の死體及び銃器五挺を捨置き逃走したるが討伐隊は双龍の妙なる副頭目干德升(三二)を捕へ双龍の首及び銃器を攜へ八日午前歸還せり尙撫順に於ける討伐隊は馬賊八名を捕へ引上たり(安東)

## ◎女二人を誘拐

九日午前釜山入港の新羅丸三等乘客福岡縣浮羽郡江南村柳裳太郎(三〇)は女房あるにも拘はらず同郡椿子村なる人妻林(二三)たきを誘致したきを女房にすると欺まし朝鮮で世帶を持たんと巧みに誘拐して鄕里を逃走し同じ手段で他の若い女も同行したがこれから鎭海に連れて行つて同地の飮食店に酌婦に賣り飛ばす手筈であつた事が露顯したので裳太郎は釜山署に引致女は親元に引き渡すべく原籍地に照會中であると

## ◎帆船行衞不明

慶北鬱陵島南面道洞に居住せる島根久次郞の所有帆船長寶丸(五十噸)は便乘客十數名を乘せて、去る一日島根縣境港を出帆し三日正午頃鬱陵島附近に其の船影を現はしたる折柄東北の風荒く吹き起り海上波高く爲めに入港を妨げられ却つて遠く沖合に吹き流され漸次に影を沒したる以來同船の行衞判明せず殊に十數名の便乘客もありたる事とて鬱陵島警察署よりは特に之が搜査方を鎭海防備隊に依賴したるに恰も差支の爲め出動不能とのことに目下境地方より發動機船を以て搜查中なるが未だ行衞不明なりと(大邱)

## ◎妓生 資産家を訴ふ

七百圓の損害賠償請求 京城渼進洞八十六番地居住元廣橋妓生組合妓生金牧丹は蓬萊町一丁目資産家車鼎潤を相手取り損害賠償金七百圓の請求訴訟を十三日京城地方法院に提起せり原告主張の要旨に依れば牧丹は四年前より廣橋組合に入名し營業中本年五月初旬車鼎潤は牧丹を妾として同棲すべく申込みたるより其の旨快諾し同月十五日被告人の指揮により廢業屆を提出し其の扶養を待ち居るも今日迄何の音沙汰もなく又同棲すべき意志なきものゝ如く本年五月十五日より七月二十四日迄七十日間廢業したるを一日十圓と見積り前記の七百圓を請求したるも應ぜざるより已むなく此の訴訟に及びたるものなりと

## ◎誘拐して弄ぶ

平北昌城生れ當時支那寬甸縣大九冊溝金昌鎰(二〇)と同縣小蒲河口客主業李基瑞(三)の兩人は昌城金士永の妻金姓女がうら若き花嫁姿にて實家なる寬甸縣三臺子溝金仁守方に戻り居れるを知り嫁入先より口利を賴まれたりと詐稱し本年四月十五日同女を誘拐し甘言を弄して十數日間昌鎰と同棲せしめたるより兩人は此程誘拐罪として新義州支廳檢事局送りとなる

## ◎拾つて屆出づ

京城光化門通り村仲民は十一日午後六時中瑞麟洞の路上にて現金二十四圓及び雜品入りの財布を拾得して鍾路署に屆出づ

## ◎危ない飛乘り

十三日午後六時二十分頃京城電氣株式會社の義州通行九十六號電車が黃金町三丁目六十六番地先を進行中水下町大島佐十郎(四七)が飛乘らんとして兩膝に負傷し共愛會醫院にて手當を受く

## ◎汽車に轢かる

十四日午後十二時三十分南大門驛發仁川行急行列車が龍山驛を發し同驛構內南側踏切より約二十間許りのところを進行の際二村洞八十六番地柳聖範(六七)なるもの車輪に觸れ右顏面及び頭蓋骨の中央に拳大の裂傷を負ひ其他四肢に擦過傷を負ひたり係官出張直ちに鐵道病院に收容手當を加へたるも其の効なく同一時頃遂に死亡せり家族の言ふところに依れば同人は豫て發狂の氣味ありしといへば或は自殺を企てたるには非ざるかと

## ◎木枕で撲る

京城長橋町昌東院の金洪斗が八月五日夕刻鐵洞の飮食店崔鳳玉方にて飮食中來合はせたる同洞十七番地居住の鄭台燮(三五)外二名は洪斗に共に酒を飮まんと勸めたるに洪斗が聞き入れざりしとて木枕を以て毆打し治療二週間を要する創傷を負はせたるより告訴せられ台燮は鍾路署にて取調べの上檢事局へ送らる

## 運動界 ◎遠征庭球團より

▲第二報 遠征庭球團は降雨の爲め豫定を變更し十三日午前中旅順見學に赴き午後歸連七時よりヤマトホテルに於ける歡迎會に臨む筈なり試合は十四日午後四時より大連北公園コートに於て開始さる滿洲日々新聞社より三優勝組に賞牌の寄贈あり一行元氣極めて旺盛なり(十三日午後二時二十分着電)

▲第四報 如球家を熱狂せしめたる鮮滿庭球試合は十四日午後四時より開始せらる豫習により觀察するに南軍の技倆伯仲し殆んど懸隔なく爲に選手の氣分頗る緊張し一般も亦試合の結果に非常なる興味を覺ゆ注意を拂ひ居れり遠征軍は元氣旺盛なるも長途旅行の疲勞と不馴なるコンクリートコートの爲多少不利の位置に立てる如くなり(十四日午前八時二十分大連發電)

## さわうのさわう

大邱の高等普通學校長高橋亨氏は這回朝鮮人の性格を研究した結果を博士論文として提出したさうな▲これは氏が十年來の研究によつて大成されたもので久保博士(總督府醫院)の研究に成る鮮人の形體測定と共に學界に貢獻するところ尠少でなからう▲現に久保博士はこれを獨逸文に譯して自分の論文中に加へたいと云つてゐる▲昨年盜まれた金剛山楡岾寺の五十三佛の一部はその後內地で足がついたといふことだが未だ還らぬらしい▲現に折角還つたものでも巧く內地ですりかへられて居るとか居ないとかの噂▲釜山から來た旅客のはなしによると十三日の未明大田の南の沃川驛で聞くも哀れなはなしがあつた▲それは沃川の水害に家を流されたおかみさんが着の身着のまゝで車窓にサイダを賣りに來た▲聞けば此のかみさんは僅かの水に子供と棚のサイダ五六本とを抱へて出たきりで身につくものは何もなかつた▲それで哀れなサイダを買らうと云ふのであつたさうな▲このごろは一雨々々涼しくなる虫の聲にも日の光りにもモウ秋の氣分は充分に滿ち充ちて來た


**材木大發賣廣告**
數百年來成長せる本道著名の海州郡羅德面所在羅時山立木全部を買收し目下盛に伐採し左記用材を最も廉價に發賣致候間御希望者は現物御熟覽の上多少に不係御用命の程伏望致候
木材種類 松木、眞木、槐木、栗木、柯木、雜木
八月十五日 黃海道海州南幸町二一四番地 河成龍 告白

十四金ペン丸 ヱワロウ印 萬年筆 一圓五十錢より 八圓迄
製造特約發賣元 安村文房具部 各文具店に販賣せり

◎共樂社遊船部
本社の遊船は料金安價にして新造屋形船なり
龍山電車終點漢江畔 電話五二八番

▲青竹卸小賣(廉價販賣)
龍山榮町三六番地 富山竹材店

くだりはらによし
コレが有名ナ あかだま 赤玉
東京浅野製
しぼりはらによし

山林果樹害蟲驅除劑 シーエス液
蚜虫類には二百倍乃至二百五十倍にて
京城旭町一丁目電話二〇七八 龍山元町一丁目電話四二四 山田商店
原液一瓶 三十錢 送料十二錢
カタログ御申込次第送呈す

**眼鏡製作**
今般眼鏡製作工所開設仕り候に付ては從前よりも尙一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可く候間御引立の程願上候
九金細ズル 六、五〇〇
九金新緣ナワ 一匁三分八 八、〇〇〇
十四金同 一匁三分 八、七九
十六金同 一匁五分 〇、八〇
二十金同 一匁八分 二、九六
二十二金同 二匁 四、九〇
十八金緣ナシ玉付 〇、〇
米國製金張玉付 甲 三、五〇 乙 三、〇〇 丙 二、五〇
銀緣 一圓卅錢以上二圓五十錢迄
赤銅緣 八十錢同二圓五十錢迄
赤銅金次分 二圓同五圓迄
鐵、ニッケル、金穴明 二圓五十錢同五圓五十錢迄
柚子物、用、磺石用 六圓五十錢迄
獨乙玉 用眼鏡各種 六十錢より一圓まで
メニスカス玉 一圓五十錢より三圓迄
クリ山玉 一圓五十錢乃至二圓五十錢迄
サック十錢以上一圓まで
各地方より御注文の節は代金引替にて直に御送附申上可候
京城本町一丁目(郵便局前) 中村メガネヤ 電話千百十七番 振替京城三四六番

**內科 小兒科(胃腸病) 外科(內臟外科) 皮膚花柳病科 婦人科** 大和病院
京城本町五丁目(舊府廳前) 電話二〇一二番
院長 醫學士 齋藤勇 副院長 醫士 竹葉善松

**大日本優等清酒 白鶴** 品質純良 衛生無害
釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 四二五番

**不動產登記申請用紙** 販賣 見本添付御照會乞 即時回答
京城明治町二 電話一二八九番 瀨川中央堂 振替二〇四五番

**宇治本場眞正銘茶小包直接販賣**
一、相場の如何に不拘宇治製本場特製品を以てする事
二、正價を以て親切を旨とし廣告と現品と表裏ある事
三、目方及荷造を嚴にし速に貴需に應ずる事

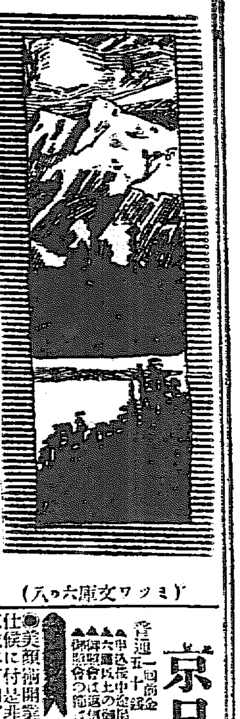
**御茶銘並に定價表**(各一斤百六十匁に付)
▲玉露之部 一千羽 金五圓 一鶴の 金三圓 一老松 金二圓 一寒竹 金一圓五十錢 一白梅 金一圓二十錢 一高砂 金九十錢
▲煎茶之部 一富士 金一圓二十錢 一池の尾 金一圓 一大福 金八十錢 一堀井園 金七十錢
一正喜撰 金六十錢 一喜撰 金五十錢 一青柳 金四十錢 一川柳 金三十六錢
▲製茶之部(此部のみ十匁に付 但上げは二割增) 一初音 金四十錢 一後昔 金三十錢
▲薄茶之部(但上げ二割增) 一極詰 金三圓
一上別儀 金一圓六十錢 一別儀 金一圓 ▲折物之部 一折鷹 金九十錢 一上折 金七十錢 一雁が音 金六拾錢
▲粉茶之部 一玉露粉 金一圓二十錢 一玉眞粉 金七十錢 一葉花粉 金七十錢 一玉花粉 金四十錢 一煎粉 金三十五錢

**小包制限賣販規定**
大典記念 弊店は左記の方法に依り破格の割引をなし、殊に平素の愛茶家諸彥の御厚情に報ゆる爲め小包目方の最大限一貫六百匁(箱詰)を提供して各華主の御便宜御送し得る完全なる荷造を施したる總量)を計らんとす
**茶銘並に定價表**(正味一貫二百匁入箱代共)
▼玉露之部 一老松 金十一圓五十錢 一寒竹 金八圓九十錢 一白梅 金七圓三十錢
▼煎茶之部 一富士 金六圓六十五錢 一池の尾 金五圓七十五錢 一大福 金五圓十錢 一堀井園 金四圓五十錢 一正喜撰 金三圓九十錢
▼粉茶之部 一玉眞粉 金七圓三十錢 一玉花粉 金四圓七十五錢
▼折物之部 一雁が音 金四圓十錢 一折鷹 金六圓
◎御注文の節は小包制限賣に依る茶銘何々小包幾個分と御記入の事◎前金にて御注文の節は包代金と送費御記入なき時は普通の販賣法に依る◎小包料は左記の如し(前金御注文の分)
右內地三十六錢。臺灣、樺太六十錢。朝鮮、支那七十錢

【販賣手續】
右之外御茶銘に應じ何品にても調進仕候裝飾は總て御注文に依り所氏名を極明瞭に細記し前金を爲替又は貯金口座へ御拂込か代金引換小包郵便の二種に限る◎前金に不足二圓は現品一斤に付ての計代金一品一圓以上の品は無代にて御遞送致す◎一斤以下は郵便料は代用紙箱詰と爲し◎品以下代金は凡て當方負擔の事◎破損等の爲め凡そ送料以上の品は凡て御需用者の負擔に候節は箱代付實費申受候◎近郊遠近等に依り箱代は特に付申受る事
㊤本店 山城長池郵便局區內 綴喜郡青谷村 堀井園 堀井憙之輔 電話長池十四番 振替大阪七二九九番

昔 今 特效 一巡を輕下げ胃腸上效能で賣れる しふえきとり
大日本大阪高津 電南七二九・振替大阪九七三
本家ひふえきとり 伊藤長兵衛

**內科 小兒科**(入院隨意) 京城櫻井町(電一二七一番) 池上醫院



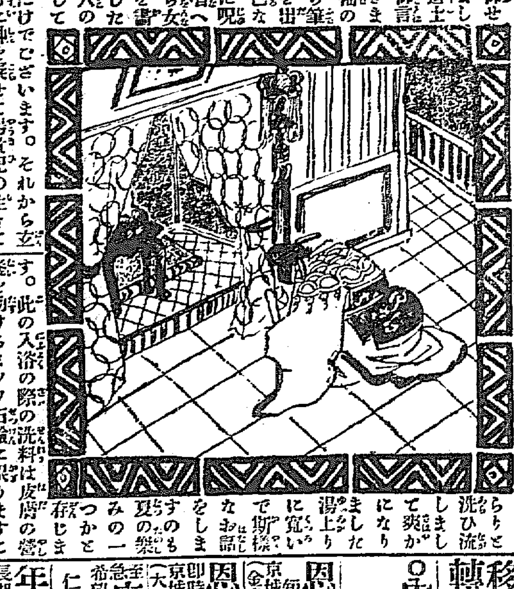
# 玄宗と楊貴妃

## 道士呪文を唱へ畫像を作る 玄宗帳中に太眞の魂と語る

市村羽左衛門談

比翼連理とか偕老同穴とか云ひますが濃やかな仲の例にはよく唐土の玄宗皇帝と楊貴妃の御仲が芝居などにも引合に出る様でございます。此の楊貴妃はその名を太眞と云はれた方でございますが生れながらにその左の臂に玉の痣があつて太眞と云ふ二つの小さい字が浮くなつて居たので玉環と云ふ字があつたと云ふことでございます。何しろ非常に美しいお方で玄宗皇帝の御寵愛を一身に集めなうし三千人の寵愛も此の楊貴妃一人に見かへられて只此楊貴妃の一身に寵愛が集まつたと云ふのですから大變なものでございます此が爲に朝の政も怠り勝だつたと云ふことでございますが此の楊貴妃が終に馬嵬で縊殺されましたのですから玄宗皇帝の御悲歎は思ひやられます。朝夕只楊貴妃のことばかり思ひつめられ顔形まで御憔れになりました時に一人の道士が玄宗皇帝に謁見を願ひ出ましたのでお許し遊ばされても一度太眞に遇ふことが出來たら死んでも憾はないと仰せられました。道士は此御言を聞きまして袖の中から筆と墨を出し黄色な紙に呪文を唱へながら女の像を書きました。ただ人の像をして居るだけでございます。それから玄宗皇帝に神を凝せて楊貴妃の生きて居た頃のことを三晝夜の間思ひつめさせましてさて宜しうございますと申しますので像を出して御覧遊ばさると誠に楊貴妃の顔容でございますから御喜びになること一方でない。道士は笑ひまして未だお喜びになりますには早過ますと云つて五色の帳をしつらへまして容貌端麗な二十四人の少女に髪を揃へて謡はせ御符を焚き呪文を唱へ此煙を吸つては像の上に吹きかけさて玄宗皇帝を帳をとつと帳の中へ入れ奉り金の扉を鎖しました。帳の中には楊貴妃が待つて居りました。天下の主に座しながら一人の女をお救ひになることが出來なかつたのでございますかとさめざめと泣いて訴へますと王は種々に力及ばなかつたことを仰せられ御中解けて夜明近くまでお語ひになりましたが夜の明ぬ内に道士が扉を開いてお別れをおすゝめ申し上げました。輿をお出になつて顧へつて御覧になりますともう楊貴妃の姿は見ねなかつたと申します。夏の夕暮一風呂浴びまして昼の暑さを汗や汚垢と一所にさらりと洗ひ流しまして爽かになりました湯上りに宜い御話で斯様な御話をしますのも夏の一つかと存じます。

▲市村羽左衛門曰く 私共は商賣柄ですから、お顔に[illegible]荒れ易いのでございます。[illegible]不乾性の充分に精製された椿油を用ゐましてお髪をよくお手入なさる様におすゝめいたします。ミツワ椿油は[illegible]内地の工場で精製したのを取寄せまして[illegible]純良品で、お髪は之で艶がよくなり[illegible]



此の入浴の際の洗料は皮膚の營養を助けるミツワ石鹸に限りますことは今更申し上げるまでもございません。ミツワ石鹸は不純な混合物のない遊離の脂肪も遊離のアルカリもない化學上の純石鹸であります上に原料にい、脂肪を用ひ日本人の皮膚に適する様に研究し精製された理想の石鹸でございますから皮膚を刺激して荒す様なことはなく汚垢を落して皮膚を清潔にしました上皮膚は生々とした色澤になりまして白粉ののりもひも宜くなります。

(ミツワ文庫六の八)

## 商況

### 下關期米特電

十四日後場(時當貨地場買各地高來直る) 當限 中限 先限 [illegible]

### 大阪期米特電

後場寄限▲寄付二十二圓二十七錢▲中限寄付二十二圓九十錢▲先限寄付二十二圓九十一錢

### 大阪三品特電

▲十四日後場 ▲[illegible]

### 仁川期米

▲十四日後場 ▲兵庫後場二十二圓四十五錢 東京二十二圓三十九錢 大阪前止二十二圓八十五錢 後[illegible]
寄九十一錢の入電にて寄地當出來不申中十九圓七十五錢迄十九圓三十錢と三錢高に寄付さる

りたるが今後東大阪の小商さ入電に十九圓三十圓と寄付きたる所大阪筋商を移して(◎今買む他より買物入れ四錢と上伸したるが(◎今買会◎其他より利喰に新規に賣物多く三十錢と押し◎金の買に安へ二錢と返し一錢と吐合を告げたり市況は大阪筋に[illegible]

### ▲天候恢復乎

[illegible]昨午後大風雷雨[illegible]で夜に入つて小雨[illegible]

▲海州大豆十圓三十錢同麥一斤五錢四厘同小麥十圓四十錢金川小麥十四錢等にて出來たり十四日後場 當限十九圓七十五錢 出來高八

場況 高値 十九圓三十四錢 安値 十九圓三十錢
出來高 三萬七千四百九十石
平均 一節 十九圓三十三錢 二節 十九圓三十二錢 三節 [illegible]

### ●給仕窃盗を働く

京城通計、繪葉書、月謝金其他雜品多數を洞全用基二男金鍾源(一六)は元京城高[illegible]窃取したること發覺し鍾路警察署に引致取調べ中

## 京日案内

普通一回前金五十錢 番外一回前金(匿名一回に拾錢增し)
▲申込後中途廢止の節は料金返戻せず▲六圓以上の御申込は特に割引▲御照會は返信附にあらざれば回答せず▲御照會つ節は必ず數字の番號御記入なさを

普通

●美顔術開業 並に美容洗粉販賣仕候に付是非一度御試しの程願上候 京城本町四丁目 東洋美容舖 4[illegible]

●金融 官吏商人の方大小に依らず貸出極秘迅速貴金町一ノ一九三支那料理金谷園横上ホテル屏側 柏栄 421

●賣宅地 左記所在六百餘坪(課税地價九百餘圓)賣價坪一圓分割不苦 西大門外獨立門內東光社裏 丸山[illegible]

●工場讓渡 將來非常に有望なる製紙工場讓渡たし賣千六百圓 (姓名住社) 425

▲有給男女記者及利員採用本人同伴書携帶委細面談 吉野町一の一二七京城新聞第二帝國社 電二七七二

●外廻り募集 無學の男女でもよし其日より有給 南米倉町交番所前 藤井 409

最結用古本と古樂器あ[illegible] 本町ウツボヤ 電二五二七 振二二二三 392

番外

外勤社員採用 年齢卅歳以上の者にして外交の自信ある紳士 京城南大門通二 大同生命京城支部 383

店員入用 十八九歳より卅歳迄要身元保證人 京城本町五丁目四八 峯岸雜貨店 419

賣家 浪板バラック建 錬兵場前龍山電話二五六番 中根工場 428

貸家 漢江通敷地二百坪建坪四十坪事務所向 錬兵場前龍山電話二五六番 中根工場 429

湯屋讓渡 委細は御來談を乞ふ 京城本町二丁目 電話四五番 釘本藤次郎本店 427

移轉 小兒科內科 呼吸器胃腸病 南大門通農工銀行前 電話四六二番 若槻醫院 408

○內科○小兒科 京城明治町 電話一五〇四番 女醫 川崎朋子 406

恩給年金立替 利子格安即時取引 京城若草町一吉 電話二三九一番 國江商會 403

恩給年金立替 五年迄利一〇即時取引退隱料一切千圓以上別契約 (金光教東手)京城櫻井町(大正館向)元祖 博多屋本店 397

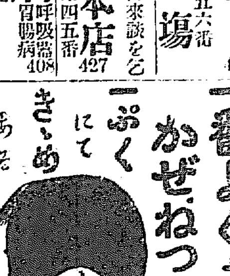
至急店員入用 多少算筆の出來る者二名外數名希望者來談 但市內に保證人を要す 仁川新町 津田兄弟屋 384

恩給四年 年金 低利 迄無保險立替 利子前引なし 長期五年迄即時融通 ▲京城永樂町一 商品陳列館表門前下ル角 江州屋本店 378

恩給年金 三年迄無保險 五年分迄立替月利一步二厘手數極安 京城南大門外舊御成町 西鮮支店京義線沙里院 山口屋 黃川商店 367

公債株式現物賣買 東京合資會社福島商會特約店 京城貫鐵洞一五三 電話二三八一番 加藤商店 330

●礦物定量分析 朝鮮公論社左横小路 太平町二丁目 電話長二三四四 二五 坂元分析所 322





## 最新刊

◉朝鮮畜產例規 吉田雄次郎 七〇
◉實驗果樹園藝 上 富田宗治 四、〇〇
◉歌集白梅集 若山牧水 若山喜志子 七五

## 天然生活法

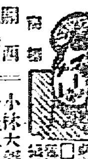
◉新田豊講評 定價 八五
◉曆講話 小澤停太郎 一、〇〇
◉滿蒙現勢圖 南鮮遊觀社 六、五〇
◉日鮮警察用語丁 釜風 五五
◉學生及青年作文軌範 中村正直 六五

## 進むべき道

◉南條文雄著 定價 一、二〇
◉栽桑十二ヶ月 山本久助 五〇
◉朝鮮語法及會話書 總督府編 二三
◉舊韓府御秘藏秘戰 本因坊秀哉 八五

大阪屋號書店 京城本町一 電話(本)三五六番 振替京城二〇七三番

## 醫者自身 製造發賣する 純獨逸式胃病新劑 イーナー



世界第一の稱ある獨逸醫藥の進歩は實に驚くべきで殆ど名醫大家の處方發藥と變らぬ胃腸專攻の久住松井の兩ドクトルは昭朝以來我國賣藥の改革し時間と金に迫はる、人々のため遂に理想的效果ある胃病新劑イーナーを創製發表した同劑は獨逸歐米の諸大學は勿論帝國大學其他東西大家の處方調劑百を實地研究の結果特に[illegible]に最近醫學の精品とも稱すべく實に地位名譽ある兩先生が寢食を忘れて手づから[illegible]
胃病 一の藥は上げられぬ[illegible]
[illegible]

代理店 西一 丹平商會 小林大藥房 高橋盛大堂

## 衛生 全乳

京城若草町 荒井牧場 牛乳部 電話京城龍山 一〇〇 七三一 四一二

## 花柳病專門 外科

◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病◉睾丸病◉肛門病◉皮膚病◉婦人病◉神經衰弱ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院 電話三〇六五番

## 虎疫來襲の光あり

今が豫防の大切時!!

昨秋のコレラは實に三府二十二縣に漫延せり 本年も尚保留菌の各所に存在せるあり

殺菌力強大=美味滋養の葡萄酒

赤玉ポートワインを

氷に一滴! サイダーに一滴!!

◉醫家は云ふ
コレラ菌に對する殺菌力はよい葡萄酒が一番である、氷や水の中には恐るべき黴菌が潜んでゐる、故に氷やサイダーを飲む時殺菌力強大な葡萄酒赤玉ポートワインの一滴を用ふれば美味で殺菌するのみならず消化を助け益々胃腸を强健にする

◉世評に曰く
夏期の贈答品には美味で衛生的な葡萄酒赤玉ポートワインが一等です!

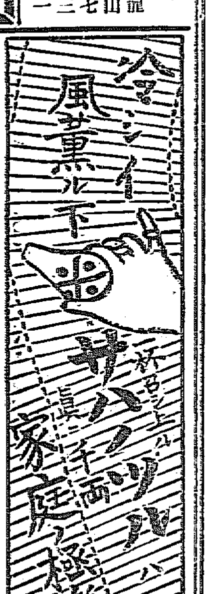
(類似品アリ赤玉印ニ御注意)

赤玉規那鐵葡萄酒 赤玉生葡萄酒 本店

●大日本政府登錄 米國製正十四金『イリジーユム』付ペン (責任保險付)
製社代理部が幾多萬年筆中より特に選擇せる堅牢無比眞に理想的なる
完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕
京城旭町二の六 東京パイン萬年筆出張所

定價 押出式 インキ止式 イン中入用 最新式細軸 三圓五十錢 三圓八十錢 四圓九十錢 三圓[illegible]

發賣元 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇〇番
陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店





特約店
京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九二番 四八番
龍山漢江通 佐藤牧支店 電話龍山二九番

## 日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽(天津)牛莊行
相模丸 八月廿八日 正午出帆
高砂丸 九月 七日 正午出帆
三河丸 八月十七日 後十二時出帆
仁川海岸町十一丁目 電話 回漕部

○江原丸(芝罘、大連經由) 八月廿一日 仁川發
但し三十一日は休航

## 大阪商船仁川出帆

○外航路所屬船(臨時航路を除く)間連絡航路乗船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

◉神戶、大阪行
×漳州丸 八月十五日
×汕頭丸 八月廿七日 後二時出帆
◉南浦、神戶、大阪行
×天智丸 八月十九日 後二時出帆
◉木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行
×安東丸 八月十九日
×安東丸 九月 五日 後二時出帆
○橫濱行
×汕頭丸 八月十五日 後二時出帆
△福州丸 月 日
◉南浦行
×漳州丸 八月廿三日 後二時出帆
◉鎮南浦、大連行
×安東丸 八月卅一日
×安東丸 八月十九日 後二時出帆
◉西湖津新浦城津淸津行(元山出帆)
宮島丸 八月十五日 後十二時出
◉淸津行(元山出帆)
宮島丸 九月 一日 後十二時出
◉上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 八月廿五日 前五時出帆
基隆丸 九月 十 日 後四時出帆

御注意 ◉朝鮮鐵道及び南滿州鐵道會社と船車の連絡切符發賣仕候◉御乘船の約一時間前無賃送迎可致候◉×印は本船出帆の當日は締切り△印は結客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話 一二番、二〇番、五五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 開盛旅館 電話 二六一番

## 朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九三二・二三三番 一七〇番
支店 京城南大門 麗水 出張所代理店 京城松原運送店 [illegible]
○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印ある船は元山、城津寄港せず
×京城丸 八月十 日
×忠淸丸 八月十九日
成鏡丸 八月廿九日
平壤丸 八月廿四日 釜山發
○元山より各地經由雄基行
雄城丸 八月十五日
咸鏡丸 八月十九日
三浦丸 八月 日 元山發
○浦潮行(元山より城津淸津經由)
平安丸 八月 日 元山發
○元山長崎間
鏡城丸 八月十八日
咸鏡丸 八月二十日
雄城丸 八月 日 元山發
○釜山元山間
慶寶丸 八月 日 釜山發 元山發
○釜山濟州島行浦項及各地經由
濟德丸 八月 日 釜山發
○浦項行(慶尙道方面各港經由)
江陵丸 毎日 釜山發
襄陽丸
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 八月 日 釜山發
○麗水行(各地經由)
海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
統營丸
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
順天丸 南陽丸 三日目毎に 木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
東廻、公州丸 八月十五日
西廻、慶興丸 八月十七日 木浦發
○多島海各島行
慶興丸 八月 日 木浦發
○木浦行(群山其他各地經由)
晉州丸 八月十七日
麗水丸 八月 日 仁川發
○鎭南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 八月十七日 仁川發
○海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸 錦江丸 毎日 仁川發
○靑島行(芝罘、大連經由)
江原丸 八月廿一日 仁川發
但し三十一日は休航